

作業療法学科 理学療法学科(昼間部・夜間部) 看護学科 介護福祉学科 国際介護学科 情報システム学科



令和 7 年度年報



九州中央リハビリテーション学院 令和7年度年報

【目 次】

- ・令和7年度年報の発刊に際して
 - ・学院概要
 - ・組織構成
 - ・沿革
-

令和7年度 年次活動報告書

I 学籍異動・教職員数

II 年間行事実績

- 1 作業療学科・理学療法学科
- 2 看護学科
- 3 介護福祉学科
- 4 国際介護学科
- 5 デジタルソリューション学科

III 学生生活

- 1 入学式
- 2 宣誓式
- 3 専各連スポーツ大会成績
- 4 在学生の声
- 5 ボランティア活動
- 6 就職説明会
- 7 就職
- 8 卒業式

IV 教育活動

- 1 作業療法学科・理学療法学科
- 2 看護学科
- 3 介護福祉学科
- 4 国際介護学科
- 5 情報システム学科

V 研究・研修実績

- 1 執筆・論文
- 2 学会発表
- 3 講演
- 4 学会座長
- 5 その他(講義・査読等)
- 6 研修会参加
- 7 社会活動実績

VI 社会活動・地域活動

- 1 介護予防事業(OT)
- 2 進路ガイダンス等
- 3 学生募集活動
- 4 オープンキャンパス
- 5 入学前教育プログラム

VII 奨学金

VIII 編集後記

令和7年度年報の発刊に際して

九州中央リハビリテーション学院 学院長
河野 文夫

関係各位 殿

平素より九州中央リハビリテーション学院にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。第20号にあたる令和7年度九州中央リハビリテーション学院の年次活動報告書（年報）が出来上がりましたのでご挨拶申し上げます。

本学院は平成18年4月に作業療法学科と理学療法学科で高度専門士を養成する4年制の専門学校、九州中央リハビリテーション学院として開校し20年目を迎えました。理学療法学科には昼間部のほかに熊本県内では唯一の夜間部を設けています。平成21年には、3年課程の看護学科を開設し、平成23年には2年課程の介護福祉学科を開設し、平成29年から海外からの留学生のための1年課程の国際介護学科を設置しました。また、令和16年4月からは、地域で求められるデジタルビジネスパーソン育成のための情報システム学科を開設しました。

これまでに高い資質を持った、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、IT専門士を社会に送り、3070名の卒業生は社会人として全国各地の医療福祉の現場で活躍中です。

この年報を見ていただくと、本学院が一年間行ってきた活動の全貌がお分かりになると思います。昨年度に引き続いて教職員の資質向上に向けFD委員会を開催し、学生との関わりや勉強への動機づけ、カリキュラムの検討など、これからの教育活動に結びつけられる実りある研修を行う事ができました。また学生一人一人の日常生活にも目を配り、いつでも学生の悩みに学院として対応するために学生サポート委員会を毎月行っています。

今後も、しっかりと足を地につけて一步一步前進して行ける学院を目指して、この年報を活用していきたいと考えています。

今後とも本学院に対するご理解とご協力をお願い致しますとともに、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様方のますますのご活躍を祈念し、ご挨拶と致します。

令和8年6月吉日

学院概要

学校設置者	学校法人 立志学園
代 表 者	理事長 志垣伸太郎

学 校 名	九州中央リハビリテーション学院
学 校 長	河野文夫
所 在 地	熊本市中央区本山 3 丁目 3 番 84 号
ホームページ	http://www.kcr.ac.jp

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員
医療専門課程	作業療法学科	4 年	40 人	160 人
医療専門課程	理学療法学科昼間部	4 年	80 人	320 人
医療専門課程	理学療法学科夜間部	3 年	40 人	120 人
医療専門課程	看護学科	3 年	80 人	240 人
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	2 年	40 人	80 人
教育・社会福祉専門課程	国際介護学科	1 年	20 人	20 人
工業専門	デジタルソリューション学科	2 年	40 名	80 名
計			340 人	1,020 人

理念・目的・方針

1. 基本理念

・徳育

道徳心のある、情感豊かな人間性を養うための教育

・知育

知識を広め知能を高めるための教育

・体育

運動能力や健康な生活を営む態度などを養うことを目的とする教育

特に徳育に重点を置き、基本的な礼儀作法を始めとした社会性の習得を徹底させ、奉仕を信条とする人材の育成を図ります。

2. 目的

本学院は、教育基本法および学校教育法に従い、専門職として必要な知識・技能・態度を

教授し、あわせて職業倫理をはじめ豊かな教養と人格を涵養し、社会に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。(学則第2条)

3. 運営方針

<学院づくり指針>

- ・穏やかな学院

知的躍動が漲り、医学を習得し育てる学院とする。

- ・健やかな学院

他者を支え、寄り添う幹を伸暢し育てる学院とする。

- ・美しい学院

感性が迸り、倫理観を涵養し育てる学院とする。

<教育指針>

- ・全ての学生を適切に指導し、明確な将来像を示し、目標達成に導く。
- ・生命の尊厳を尊重し、他者を敬い、多様な社会で協働・協調できる人材を育成する。
- ・問題発見能力と問題解決能力をもつ人材を育成する。
- ・粘り強く、あきらめない心を育み、自己の責任を全うする人材を育成する。
- ・社会性を育み、良き市民として自らを律し、自省自立できる人材を育成する。

<職員行動指針>

- ・人間力・教育力・専門力の向上に邁進する。
- ・個々の人格を尊重し、多様性を認め、各々が能力を発揮できる環境整備に努める。
- ・それぞれの専門分野を通し、広く社会に貢献する。
- ・社会の一員を自覚し、良き市民として、職業人として、自らを律し自省自立の精神を持つ。

4. アドミッションポリシー（入学者の受け入れ方針）

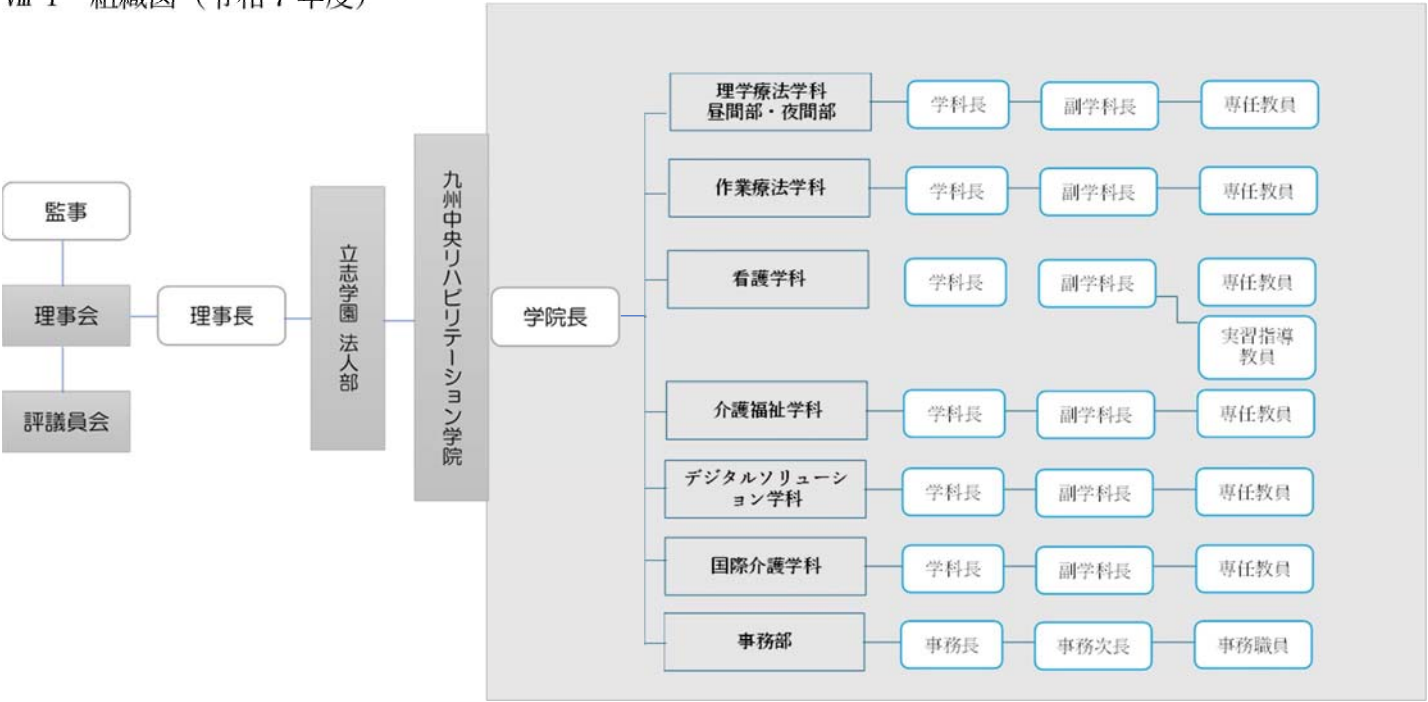
本学は平成18年に開学した、医療系の専修学校です。広く社会に貢献し、高い資質を持った、理学療法士、作業療法士、看護師、及び介護福祉士を養成しています。

本学院は、自ら学ぼうとする意欲と努力を惜しまない学生を求めています。その為には広い視野を持ち、真摯に討論や対話ができ協力し合える能力を備え、また身に付けようと考えている人を広く求めています。

本学院の基本理念である、「知育・徳育・体育」の基、理論と実践に裏打ちされて専門的な知識と技能を身につけるだけでなく、医療人として心豊かな人格の涵養も重要な柱と位置づけ、独自のカリキュラムを用意しています。感性豊かで高い志を持った方々が、本学院の一員となって私たちと共に学びあえることを期待します。

VIII 学院組織構成

VIII-1 組織図（令和7年度）



VIII-2 学校法人 立志学園 理事・評議員・監事（令和7年度）

役 職	氏 名	勤 務 先
会長	志垣 祥一郎	学校法人 立志学園
理事長	志垣 伸太郎	学校法人 立志学園
理事	河野 文夫	九州中央リハビリテーション学院 学院長
副理事長	田爪 正和	学校法人 立志学園
理事	石崎 聖英	九州中央リハビリテーション学院 事務長
理事	永田 壮一	医療法人永田会 東熊本病院 理事長
理事	藤田 雅士	株式会社熊本日日新聞社 常務取締役
評議員	伊津野 良治	財団法人 杏仁会 熊本内科病院 理事長
評議員	富島 三貴	医療法人 博光会 御幸病院・ぼたん園 理事長
評議員	志垣 輝子	
評議員	目黒 純一	学校法人 熊本学園 理事長
評議員	浅山 弘康	株式会社 熊本放送 特別顧問
評議員	米満 弘一郎	医療法人 寿量会 熊本機能病院 理事長
評議員	由井 照二	由井法律事務所 弁護士
評議員	高濱 照	元九州中央リハビリテーション学院 副学院長
評議員	島田 一誠	九州中央リハビリテーション学院 事務次長
評議員	古山 仁	九州中央リハビリテーション学院 同窓会会長
監事	松本 和雄	
監事	下田 憲幸	株式会社 熊本会計センター 所長

沿 革

平成16年7月28日	学校法人立志学園設立準備室設置(熊本市新屋敷1丁目3番25号)
平成17年7月15日	財団法人立志学園設立準備財団の設立許可(熊本県知事)
平成18年1月31日	校舎(1号館)竣工
平成18年3月1日	学校法人立志学園 設立認可(熊本県知事)
平成18年3月1日	九州中央リハビリテーション学院 設置認可(熊本県知事)
平成18年3月2日	学校法人立志学園 設立(熊本市本山3丁目3番84号) 志垣祥一郎 初代理事長就任
平成18年3月8日	九州中央リハビリテーション学院 理学療法士作業療法士養成施設の指定(厚生労働大臣)
平成18年4月1日	九州中央リハビリテーション学院 開校(熊本市本山3丁目3番84号) 岡崎禮治 初代学院長に就任
平成18年4月6日	理学療法学科(昼間部・夜間部)、作業療法学科 第1期生 126名入学
平成19年2月22日	理学療法学科夜間部 専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成19年2月28日	理学療法学科昼間部 作業療法学科 高度専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成20年12月25日	看護師養成施設の指定(九州厚生局長)
平成21年3月10日	2号館 竣工(熊本市本山3丁目3番87号)
平成21年3月19日	理学療法学科 昼間部 入所定員変更(40名→80名)の承認(九州厚生局長)
平成21年4月1日	児玉公道 九州中央リハビリテーション学院 第2代学院長に就任
平成21年4月2日	看護学科 第1期生 43名入学
平成22年2月26日	看護学科(3年課程)専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成22年2月26日	理学療法学科夜間部 高度専門士称号付与認可(医療専門課程)
平成22年3月7日	理学療法学科(昼間部・夜間部)、作業療法学科 第1期生 102名卒業
平成22年3月15日	社団法人日本作業療法士協会 認定校登録 世界作業療法士連盟(WFOT) 認定校
平成23年2月2日	3号館 竣工(熊本市本山3丁目3番70号)
平成23年3月9日	介護福祉士養成施設の指定(九州厚生局長)

平成23年4月8日	介護福祉学科 第1期生 44名入学
平成23年12月22日	介護福祉学科(2年課程) 専門士称号付与認可(教育・社会福祉専門課程)
平成24年1月12日	看護学科 入所定員変更(40名→80名)の承認(九州厚生局長)
平成24年3月9日	看護学科 第1期生 36名卒業
平成25年3月9日	介護福祉学科 第1期生 39名卒業
平成27年3月30日	一般社団法人リハビリテーション教育評価機構認定(OT PT PTN)
平成27年5月23日	学校法人立志学園設立10周年記念式典・祝賀会
平成28年2月19日	文部科学省 職業実践専門課程認定(OT PT PTN CW)
平成29年2月24日	文部科学省 職業実践専門課程認定(Ns)
平成29年4月1日	国際介護学科設置 河野文夫 九州中央リハビリテーション学院 第3代学院長就任
平成29年4月3日	志垣伸太郎 学校法人立志学園 第2代理事長就任
平成29年4月6日	国際介護学科 第1期生6名入学
平成30年4月1日	理学療法学科 夜間部4年課程 募集停止
平成31年4月1日	理学療法学科 夜間部3年課程 設置
平成31年4月5日	理学療法学科 夜間部3年課程 第1期生 32名入学
令和6年4月1日	デジタルソリューション学科 2年課程 設置
令和6年4月2日	デジタルソリューション学科 第1期生 11名入学

I 学籍異動・教職員数

I -1 学籍異動

学科	学年	定員	令和7年度						令和8年度			
			期 初	在 籍 数	退 学 数	転 科 区 分 変 更	留 年 数	進 級 ・ 卒 業 数	新 入 学 数	編 入 学 数	留 年 数	期 初
理学療法学科	1	80	39	4	0	0	35	48	0	0	48	
	2	80	59	7	0	2	50	－	0	2	37	
	3	80	75	9	0	4	62	－	0	4	54	
	4	80	69	0	0	0	69	－	0	0	62	
	計	320	242	20	0	6	216	48	0	6	201	
理学療法学科 夜間部	1	40	8	1	1	0	6	9	0	0	9	
	2	40	12	2	0	0	10	－	1	0	7	
	3	40	24	0	0	1	23	－	0	1	11	
	計	120	44	3	1	1	39	9	1	1	27	
作業療法学科	1	40	25	5	1	0	19	20	0	0	20	
	2	40	21	0	0	0	21	－	0	0	19	
	3	40	24	0	0	0	24	－	0	0	21	
	4	40	19	0	0	1	18	－	0	1	25	
	計	160	89	5	1	1	82	20	0	1	85	
看護学科	1	80	67	9	0	1	57	40	0	1	41	
	2	80	60	6	0	8	46	－	0	8	65	
	3	80	58	0	0	1	57	－	0	1	47	
	計	240	185	15	0	10	160	40	0	10	153	
介護福祉学科	1	40	34	0	0	0	34	33	2	0	35	
	2	40	20	0	0	0	20	－	0	0	34	
	計	80	54	0	0	0	54	33	2	0	69	
国際介護学科	1(計)	20	13	0	0	0	13	23	0	0	23	
情報システム学科/デジタル ソリューション学科	1	40	16	2	0	0	14	11	0	0	11	
	2	40	12	0	0	0	12	－	0	0	14	
	計	80	28	2	0	0	26	11	0	0	25	
合 計		1020	655	45	2	18	590	184	3	18	583	

I -2 教職員数

	令和7年度 期初	令和8年度 期初
学院長	1	1
理学療法学科 専任教員	13	12
作業療法学科 専任教員	6	6
看護学科 専任教員	12	8
介護福祉学科 専任教員	3	3
国際介護学科 専任教員	1	1
情報システム学科 専任教員	3	3
事 務	13	12
法 人	6	7
合 計	58	53

Ⅱ 年間行事実績

1.作業療法学科/理学療法学科

前期	4月	2日(水) 8日(月)~8月8日(金) 7日(月)~25日(金) 7日(月)~26日(土)	入学式/保護者会 前期授業開始 PT学科最終学年 評価実習 OT学科最終学年 身体領域評価実習
	5月	19日(月)~7月11日(金) 19日(月)~7月12日(土) 23日(金)	PT学科最終学年 総合臨床実習Ⅰ OT学科最終学年 長期実習Ⅰ(総合実習) 学校法人創立記念日
	6月	7日(土)	第1回オープンスクール 後援会総会(書面での決議)
	7月	5日(土) 12日(土) 19日(土) 24日(木)~25日(金) 28日(月)~9月19日(金) 28日(月)~9月20日(土) 28日(月)~8月8日(金) 26(土) 28日(月)~8月8日(金)	地域リハ.精神科評価実習SV会議(OT2.3年生) 第2回オープンスクール 地域リハ実習指導者会議(PT昼3年、夜2年) 最終学年 第1回就職説明会 PT学科最終学年 総合臨床実習Ⅱ OT学科最終学年 長期実習Ⅱ(総合実習) 精神領域評価実習(OT3年生) 第3回オープンスクール 前期試験
	8月	9日(土) 23日(土) 25日(月)~29日(金)	第4回オープンスクール 第5回オープンスクール 前期試験(OT3年生のみ)
	9月	1日(月)~12日(金) 8日(月)~12日(金) 8日(月)~13日(金) 22日(月)	PT学科(昼3年、夜2年)地域リハビリテーション実習 前期再試験(OT3年生のみ) 地域リハ実習(OT2年生) 前期成績判定会議
後期	9月	29日(月)~1月9日(金) 27日(土)~28日(日)	後期授業 最終学年 第2回就職説明会
	10月	11日(土) 25日(土)	指定校・高校推薦入試 自己推薦A・社会人A一般1期入試
	11月	1日(土) 8日(土) 16日(土)	立志祭 第6回オープンキャンパス 自己推薦B・社会人B入試
	12月	13日(土) 20日(土) 27日(土)	第1回入学前セミナー(OT.PT.PTN合同) 一般入試前期、自己推薦C・社会人入試一般Ⅱ入試 冬期休暇(1月4日(日)まで)
	1月	10日(土) 17日(土) 26日(月)~2月6日(金)	PT・OT学科3年生保護者会 一般入試後期、自己推薦D・社会人D入試 後期試験
	2月	3日(月) 21日(土)	最終学年卒業判定会議 自己推薦E・社会人E入試

		23日(月)	第61回理学療法士・作業療法士国家試験
	3月	3日(火) 6日(金) 10日(火) 13日(金) 14日(土) 20日(金) 21日(土) 24日(土)	第2回入学前セミナー(OT.PT.PTN合同) 卒業式 成績判定会議(1~3年) 自己推薦F・社会人F入試 OT身体領域評価・長期実習 I II SV会議 PT評価実習・総合臨床実習指導者会議 第7回オープンスクール 第3回入学前セミナー(OT.PT.PTN合同)

《2025年度 看護学科 年間計画》

月 日(曜)	行 事	備 考(担当他)	月 日(曜)	行 事	備考(担当他)
4月			10月		
	* 始業3/25(火)	3年生	6日(月)	⑦7領域別実習開始	3年生
1日(火)	入学式(県立劇場)	1～2年生	11日(土)	指定校・高校推薦入試	
3日(木)	始業	1～2年生	25日(土)	自推薦・社人A・一般Ⅰ期入試	
7日(月)	①領域別実習開始	3年生	27日(月)	⑧領域別実習開始	3年生
22日(火)	フィールドワーク～23日	1年生			
5月			11月		
2日(金)	新入生歓迎会(遠足)	1～3年	8日(土)	⑥7オープンキャンパス	
7日(水)	②領域別実習開始	3年生	14日(金)	宣誓式	1年生
22日(木)	看護の日			保護者会	1年生
23日(金)	創立記念日	1～3年生	15日(土)	自己・社会人B入試	
27日(火)	実習「療養環境を知る」～(2日間)	1年生			
6月			12月		
2日(月)	③領域別実習開始	3年生	2日(火)	実習「対象を知る」～/5	1年生
7日(土)	①オープンキャンパス	1～2年生	20日(土)	自推薦・社人C・一般Ⅱ入試	
23日(月)	④領域別実習開始	3年生	日()	三者面談	1～3年生
27日(金)	研修(人間関係論)～28日(学)	1年生			
7月			【2026年】		
12日(土)	②オープンキャンパス	1～2年生	1月		
14日(月)	「看護のプロセスⅠ・Ⅱ～8/」	2年生	13日(火)	①領域別実習開始	2年生
26日(土)	③オープンキャンパス	1・3年生	17日(土)	一般・自己・社会人D入試	
			30日(金)	結団式(案)	1～3年生
8月			2月		
1日(金)	官報告示(国家試験)	3年生	3日(火)	②領域別実習開始	2年生
9日(土)	④オープンキャンパス	1・3年生	15日(日)	第115回看護師国試(未)	(官報にて)
23日(土)	⑤オープンキャンパス	1～2年生	19日(木)	成績判定(卒業)会議(10時)	3年生
25日(月)	⑤領域別実習開始	3年生	21日(土)	自己・社会人E入試	
日()	ケース スタディ発表会	3年生			
9月			3月		
16日(火)	⑥領域別実習開始	3年生	6日(金)	卒業式(県立劇場)	2～3年生
			9日(月)	合同実習指導者会議(10時)	2年生
			10日(火)	入学前セミナー	1年生(新1年生)
			12日(木)	成績判定会議(10時)	
			13日(金)	自己・社会人F入試	
			21日(土)	⑦オープンキャンパス	1～2年生

* 保護者会・三者面談:各学年にて企画

* 学科会議 (1/月)

II-3 介護福祉学科年間行事

【介護福祉学科】

前期

4月	1日(火)	1年生	入学前オリエンテーション
	1日(火)	2年生	新学期オリエンテーション 健康診断
	2日(水)	1年生	入学式
	3日(水)	1年生	新入生オリエンテーション
	3日(水)	2年生	新学期オリエンテーション
	4日(木)	1年生	新入生オリエンテーション、 健康診断
	5日(金)	2年生	新学期オリエンテーション
	7日(月)	1、2年生	前期授業開始
	11日(月)	1、2年生	クラスマッチ
	24日(木)	2年生	介護実習Ⅲ実習指導者会議
5月	12日(月)～6月18日(火)	2年生	介護実習Ⅲ (6/17, 18は医療的ケア見学)
	18日(土)		オープンキャンパス
	23日(金)	1年生	学院創立記念日
	26日(月)	2年生	介護実習Ⅲ中間登校日
6月	7日(土)		オープンキャンパス
	26日(木)	1年生	介護実習Ⅰ実習指導者会議
	30日(月)	1、2年生	福祉の就職総合フェア
7月	6日(日)	留学生	JLPT（日本語能力試験）

後 期		10日(木)	2年生	全国老人保健施大会 九州ブロック
		11日(金)	2年生	全国老人保健施大会 九州ブロック
		12日(土)		オープンキャンパス
		14日(月)～25日(金)	1年生	介護実習Ⅰ
		26日(土)		オープンキャンパス
	8月	1日(金)	1、2年生	介護実習Ⅲ実習報告会
		9日(土)		オープンキャンパス
		4日(月)～8日(金)	1、2年生	前期試験
		8日(金)	1、2年生	前期授業終了
		21日(木)	1・2年生	成績判定会議
		23日(土)		オープンキャンパス
		22日(金)	1、2年生	終業式
		23日(土)～31日(日)	1年生	夏期休暇
		23日(土)～9月7日(日)	2年生	夏期休暇
	9月	1日(月)	1年生	後期授業開始
		8日(月)	2年生	後期授業開始
		16日(火)、17日(水)	2年生	第一回JMP模試
		26日(金)	1、2年生	介護実習Ⅰ実習報告会
	10月	3日(金)	1、2年生	福祉機器展 in 鹿児島
		9日(木)	1年生	介護実習Ⅱ実習指導者会議

	期 間	対 象	内 容
	15日(水)、16日(木)	2年生	第一回中央法規模試
	27日(月)～11月28日(金)	1年生	介護実習Ⅱ
11月	2日(土)	2年生	第7回オープンキャンパス、立志祭
	2日(土)	1年生	介護実習Ⅱ 中間登校日
	7日(金)	2年生	第2回JMP模試
	8日(土)		オープンキャンパス
	9日(日)	2年生	「介護の日」 イベント参加
	10日(月)	2年生	「介護の日」 振替休日
	13日(木)、14日(金)	2年生	介護福祉士会全国一斉模擬試験
	26日(水)	2年生	学力評価試験
12月	7日(日)	留学生	JLPT（日本語能力試験）
	8日(月)～11日(木)	2年生	後期試験
	8日(月)	2年生	第2回中央法規模試
	19日(金)	2年生	年内授業終了
	24日(水)	1年生	年内授業終了
	22日(月)～1月4日(日)	2年生	冬期休暇
	25日(木)～1月4日(日)	1年生	冬期休暇
	22日(月)～26日(金)	2年生	国家試験対策特別講座
1月	5日(月)	1・2年生	授業開始

		7日(水)	1、2年生	介護実習Ⅱ実習報告会
		5日(月)～23日(金)	2年生	国家試験対策
		23日(金)	2年生	国家試験オリエンテーション
		25日(日)	2年生	第38回介護福祉士国家試験
	2月	9日(月)～13日(金)	1年生	後期試験
		2日(月)～5日(木)	2年生	医療的ケアの実践（集中講義）
		19日(木)	2年生	卒業判定会議
	3月	4日(水)	1・2年生	卒業発表会
		5日(木)	2年生	卒業式予行演習
		6日(金)	2年生	卒業式
		12日(木)	1年生	進級判定会議
		21日(土)		オープンキャンパス
		14日(土)～31日(火)	1年生	春季休暇

II-4 【国際介護学科】

前期	4月	1 (火)	入学前オリエンテーション
		2 (水)	入学式
		3 (木) ～4 (金)	新入生オリエンテーション／健康診断
		7 (月) ～	前期授業開始／アルバイト面接
	5月		
	6月	7 (土)	オープンキャンパス①
	7月	6 (日)	第1回JLPT
		12 (土)	オープンキャンパス②
		26 (土)	オープンキャンパス③
		28 (月) ～8/1 (金)	補講／前期試験
	8月	8/4 (月) ～8 (金)	再試・再再試期間
		9 (土)	オープンキャンパス④
		9 (土) ～	夏季休暇 ～9/15 (月)
		28 (木)	前期成績判定会議
		23 (土)	オープンキャンパス⑤
後期	9月	16 (火)	後期授業開始
	10月		
	11月	1 (土)	立志祭
		8 (土)	オープンキャンパス⑥
		15 (土)	CW学科編入試験
		20 (木)	フィールドワーク (熊本市動植物園、水前寺成趣園)
	12月	7 (日)	第2回JLPT
		20 (土)	冬期休暇 ～1/12 (月)
	1月	13 (火)	授業開始
		26 (月) ～30 (金)	補講／後期試験
	2月	2 (月) ～6 (金)	再試・再再試期間
		19 (木)	卒業判定会議
	3月	5 (木)	卒業式準備・予行
		6 (金)	卒業式
		9 (月)	CW学科進学者オリエンテーション

【デジタルソリューション学科】

前期	4月	2日(水) 7日(月)～8月1日(金)	入学式/保護者会 前期授業開始
	5月	23日(金)	創立記念日
	6月	7日(土)	第1回オープンキャンパス
	7月	12日(土) 22日(火)～25日(金) 26日(土) 28日(月)～8月1日(金)	第2回オープンキャンパス 前期補講期間 第3回オープンキャンパス 前期試験
	8月	9日(土) 18日(月)～22日(金) 23日(土) 25日(月)～29日(金)	第4回オープンキャンパス 前期再試験 第5回オープンキャンパス インターンシップ①
	9月	1日(月)～5日(金) 16日(火) 18日(木)	インターンシップ② 成績判定会議 教育課程編成委員会
後期	9月	29日(月)～1月30日(金)	後期授業開始
	10月	11日(土) 25日(土)	指定校・高校推薦入試 自己推薦A入試
	11月	1日(土) 8日(土)	立志祭 第6回オープンキャンパス
	12月	14日(日) 20日(土)	基本情報技術者修了試験 IS学科日曜オープンキャンパス 自己推薦C入試
	1月	20日(火)～23日(金) 25日(日) 26日(月)～30日(金) 30日(金)	後期補講期間 基本情報技術者修了試験 IS学科日曜オープンキャンパス 後期試験 プログラミングコンテスト結果発表
	2月	9日(月)～13日(金) 16日(月) 17日(火)	後期再試験 教育課程編成委員会 卒業・成績判定会議
	3月	6日(金) 13日(金) 21日(土)	卒業式 自己推薦F入試 第7回オープンキャンパス

III-1 入学式

令和 7 年 4 月 2 日（水曜日）午前 9 時 30 分より
熊本県立劇場コンサートホールにおいて保護者、
来賓、学院関係者で令和 7 年度の入学式が挙
行された。作業療法学科 20 期生 25 名、理学療
法学科 20 期生 36 名、理学療法学科夜間部 20
期生 7 名、

看護学科 17 期生 61 名、介護福祉学科 15 期
生 33 名とデジタルソリューション学科 2 期
生 15 名を合わせ計 177 名が学院長の河野文
夫より入学の許可を受けた。自治会長の丹生
谷弘基が在校生を代表し歓迎の辞を述べ、新
入生を代表して中野晴仁が新入生代表宣誓を
行った。



看護学科

学校法人 立志学園

九州中央リハビリテーション学院 令和7年度 入学式



介護福祉学科



デジタルソリューション学科



2024.10.14撮影

宣誓式

日 時: 令和 7 年 11 月 14 日 (金)

9:30 開式

場 所: 九州中央リハビリテーション

学院 1 号館 講堂

対象学生: 第 17 期生 59 名

(男子学生 5 名、女子学生 54 名)

「宣誓式」その起こりは、近代看護の祖と言われるフローレンス・ナイチンゲール」その人が所以である。我が国においては、「戴帽式」として長年執り行われてきた。儀式的印象が強く、現代ではそのあり方は多様化している。当学科では、令和4年度より「宣誓式」と名称を改め、ひとの命の尊厳に基づき、その生業そのものに対する畏敬と決意を確固たるものにする機会として継承している。

厳かな雰囲気の中、「宣誓の儀」が行われた。緊張した面持ちの学生達一人一人が「看護の精神」である灯を頂き、ナイチンゲール誓詞を全員で唱和した。

また、「一、正しい知識と技術を身に付けるために努力し、学び続けます。一、患者の言葉に耳を傾け、患者の思いに寄り添います。一、仲間と共に助け合い、日々支えてくださる方への感謝を忘れません。一責任ある行動をとり、信頼される看護師を目指します。」と自らの言葉で誓いをたてた。来賓として、熊本県看護協会副会長の永野智子様をお迎えし、協会長の本尚美様のご祝辞を代読頂いた。先輩からは「このナイチンゲールの灯りに込められた看護の精神と共に、この九州中央リハビリテーション学院看護学科で学んだ看護を誇

りに、絆を育み共に学び続けましょう」と激励を受けた。

多様化する社会の中で、18 才人口の低下や医療職離れが危惧される。今年度定員を満たさない中での「宣誓式」となったが、学生達の一人一人の凜とした表情からは、揺るぎない信念と希望が満ち溢れていた。どのような時代が到来しようとも、人であれば成し遂げられないこの「看護」という仕事。若い学生達の価値に伝わる方法を見出し、未来に向け発展できるよう、私達教職員にとっても身の引き締まる式となった。

Ⅲ-3 第66回熊本県専修学校各種学校連合会スポーツ大会

県大会成績

	種目	性別	順位	氏名
団体	フットサル	男子	優勝	-
	バドミントン	男子	準優勝	-
		女子	3位	-
	バレーボール	女子	優勝	-
	バスケットボール	男子	優勝	-
		女子	準優勝	-
	軟式野球	男子	準優勝	-
個人	テニス	男子	準優勝	田中
	ソフトテニス	男子	準優勝	安成/後生川

第44回九州ブロック専門学校体育大会成績(佐賀)

	種目	性別	順位	氏名
団体	バスケットボール	男子	3位	-

1年生を振り返って
作業療法学科2年 谷口実南

私達が入学して約1年が経ちましたが、この1年は新しい人間関係、難しい勉強に揉まれた激動の1年だったと感じます。普通このような文面では「入学式が昨日のことのようです」など表現するのがテンプレートなのかもしれませんが、私自身、昨日のこととは思えずとても長い1年だったなと思っています。それだけ頑張ったということでしょう。

1年生の勉強はまだ何も知識がない状態からのスタートになるため、授業では基礎を学ぶことがメインとなっていました。どの科目も重要で難しかったのですが、去年どの教科に1番苦戦したかと問うと、みんな口を揃えて同じ教科を答えると思います。「運動機能学」です。後期の運動機能学では2回テストがあったため12月から2月までずっとテスト期間が続くような状態でした。私を含め、去年の年末が人生で1番勉強したという人も少なくないのではと思います。このテスト期間は、家で1人で勉強することはもちろん、学校や図書館を利用しながら仲間達と協力し勉強する、先生に教えてもらいながら勉強する。とにかくたくさん頑張りました。気のせいかもしれませんが、みんな1年前よりもキリッと覚悟を固めたような表情をしています。

さて、勉強のことばかり書いてしまいましたが、もちろん楽しい思い出もたくさんあります。まず入学して初めてのイベントがクラスマッチでした。去年のクラスマッチで、なんと私達は1勝もできずとても悔しい思いをしました。今年もクラスマッチがあるため、今はみんなで体育館を借りて絶賛バレーの練習中です。11月の立志祭では駄菓子屋を開いて学生から小さい子供まで沢山のお客さんで大盛況でした。初対面の人達とコミュニケ

ーションを取る練習にもなったのではと思います。

去年の出来事だけで700文字も書いてしまったのですが、まだ後3年この学校に通います。長いようで短いです。楽しいことばかりではありませんが、絶対に苦しいことばかりでもありません。このメンバーに出会えたことに感謝し、国家試験合格という目標達成までみんなで手を繋いで駆け抜けていきたいです。

2年生を振り返って
作業療法学科 3年 瀬川貴文

2年生になり、学校生活にも慣れてきました。1年生の時よりも、課題やレポートが増え勉強も大変だったけれど、みんなと楽しく切磋琢磨して過ごせた1年だったと思います。

この2年生で、印象に残ったことは2つあります。1つ目は、整形外科や内科学・臨床神経学などの勉強の内容のレベルが上がったことです。1年生の時と比べ2年生の授業は応用的な部分も入り、基礎的な勉強の内容も定着してなかったため、とても難しく感じました。元々勉強が苦手でしたが、2年生になり自分を変えたいと思いテスト対策を頑張りました。その結果少しずつ成績も上がり、自分の納得のいくような結果になってきました。まだまだ基礎知識や大切な知識などついてないので、3年生では勉強の質を高め、自分が理想としている作業療法士に少しでも近づけるように頑張りたいと思います。2つ目は、初めての実習があったことです。初めての实習だったので、初めは何をしたらいいのかわからない状態でした。自分はプレッシャーやメンタル面など弱いため、実習前は不安や緊張で焦っていましたが、しかし実習が始まったら、想像していた時より緊張もなく、沢山の方々ともお話しをし、勉強になることばかりでとてもいい経験になりました。3年生でもまた実習があるので、次の実習では2年生の時の反省点を改善出来るように頑張ります。

これからの3年次では勉強に対する意欲をあげ、苦手な勉強を克服し、勉強が嫌と

いう考えにならないように頑張っていきたいです。また、3年次のクラスの間みなとも沢山コミュニケーションをとって、楽しく1年を過ごしたいと思います。礼儀や気配りなどの面でも成長し、周りから信頼を得られるような作業療法士を目指していきたいです。

「3 年次を振り返って」
作業療法学科 4 年 山口楓香

たいと思います。

3 年次では、1・2 年次に学んだ基礎知識を応用し、評価の選択やアプローチの立案など、より臨床に近い思考を学ぶ講義が増えたように思います。また、就労支援や訪問事業、小児分野といった幅広い領域に加え、病院の診療報酬や単位などの管理面についても学ぶ機会があり、大変勉強になりました。

実際に体験する講義もありました。パラフィン浴や超音波、干渉波などの物理療法を体験したり、片麻痺を想定して片手での調理を体験したりしました。調理では釘付きまな板を使用し、野菜の皮をむいたり切ったりしましたが、とても難しく、普段何気なく行っている動作にも工夫や力が必要であることを実感しました。しかし、大変さ以上に完成した時の達成感が大きく、良い経験になりました。

また、2 年次同様にグループホーム訪問もありました。ゲームの実施だけでなく情報収集も行い、班員と協力しながら、症例のニーズを叶えるために何が必要なのかを考える力を学ぶことができました。

そして 2 週間の精神科実習では、入院が長期化し、外出が難しい患者様が多い病院で実習を行いました。活動には趣味や得意なことを取り入れたり、「できること」に焦点を当てたりする視点を学びました。関わり方としては、目線を合わせて挨拶や対話を行うこと、また患者様の訴えや思いを否定せず受け止め、傾聴する姿勢を意識して取り組みました。実際に患者様を観察する中で、教科書で学んだ症状や特徴を直接見ることができ、貴重な経験となりました。また、申し送りでは医療用語が略されて使用されることも多く、聞き取りに難しさを感じる場面もありました。

4 年次では、3 週間の評価実習と 8 週間の長期実習が 2 回あります。これまでに学んだ知識や経験を活かし、作業療法士としての実践力をさらに高めていきたいです。また、実習後には国家試験対策も始まるため、クラス全員で協力しながら頑張ってい

4年生を振り返って

作業療法学科 村上莉乃

九州中央リハビリテーション学院作業療学科4年生として、私が過ごした1年間の振り返ると、臨床実習や就職活動、国家試験勉強と、日々やらなければいけないことばかりで決して楽ではない日々でした。臨床実習では、身体領域だけでなく、精神領域や小児分野まで幅広い実習を経験しました。領域ごとに対人関係や、見るべき視点を変えながら、分析していくのはとても大変でした。患者さんの分析だけでなく、自身で評価、治療を実施することは不安も多く、これまでの学院生活での勉強がどれほど重要であるか痛感しました。分からないことは1から学び直し、時には臨床実習の先生方に質問しながら日々取り組みました。私の身体領域での実習は急性期病院だったことから、長期的に関わることが出来なかったため、治療効果など実感することはあまりできませんでした。しかし、自分がいる『急性期』という場所の立ち位置を実感することになりました。私は、「治療に介入し、症状を治して良くなること」が重要であると考えていましたが、実際は「患者さんの状態に合わせながら無理に介入せず、時には一歩引きながら回復期に向けて心の土台を作ること」が1番重要であることを学びました。日々先生方は、このようなことを念頭に、身体そして精神に対して介入していることを知りとても尊敬しました。私が今後、どの領域に進んでもこの経験は、貴重で尚且つ患者さんの背景を想像する上で大切なことであるため、この視点を忘れずに活かしていきたいと思いま

す。

国家試験勉強では、それぞれのグループに分かれて日々勉強に取り組みました。自身の不得意な分野は改めて振り返り、得意な分野は復習し、同じグループの仲間に説明しながら知識の定着を心がけました。国家試験当日に近づくにつれて、個人個人が抱く不安や焦りなどの思いがあり、対人トラブルも数回ありました。しかし、当日にはともに勉強を頑張ってきた仲間として、試験の席は個人でも一致団結して全力で試験に挑むことが出来ました。また、国家試験勉強と並行して就職活動に取り組みました。就職説明会や見学を通し、自分の将来と向き合うことが出来ました。私は小論文や面接に不安が強かったため、学院の先生方をお願いし、空き時間に練習を重ねました。無事に希望の就職先に就職することが出来たのは、時間を割いてくださった先生方のおかげだと思います。

国家試験全員合格を達成できたことや、4年間の勉強の日々を乗り越え卒業を迎えることができたのは、共に過ごした仲間や、時には厳しく指導してくださった先生方、身近で1番見守ってくれた家族の存在です。この経験を糧に、次は作業療法士としてたくさんの方々を支えていけるように自分を磨きたいと思います。

Ⅲ-4 在学生の声（理学療法学科）

【昼間部】

「一年生を振り返って」

理学療法学科昼間部2年 松中駿磨

昨年を振り返ると、右も左も分からない状態からの1年間はあっという間でした。新しい場所や仲間、勉強などにも不安がありましたが、先生方の手厚いサポートもあり、充実した学校生活になりました。

前期は、解剖生理学や運動機能学など、これまで全く触れたことのなかった専門分野を学び、難しい知識や覚える用語の多さに頭を抱えることが多かったです。ですが、熱心な先生方や同じ目標を持った仲間と切磋琢磨することで乗り越えることができました。そうするうちに、クラスメイトとの仲が深まったと思います。

後期は、新しい生活にも慣れ、全体的に落ち着いた学校生活でした。授業では実技も始まり、前期で習った内容の応用のようなものも出始め、試験勉強もよりいっそう難しくなりましたが、前期で勉強の仕方を見つけたおかげで頑張ることができました。

1年生で学んだことは、これからの土台になっていくので、日頃からの復習を怠らず、しっかり定着させたいと思います。これから2年生の生活がスタートしますが、難しい実技や専門知識が増え、壁にぶつかることが多いと思います。今まで以上に勉強に対する意識を高め、クラスの団結力を強くし、全員そろって3年生に進級できるように頑張りたいと思います。

「二年生を振り返って」

理学療法学科昼間部3年 高橋幸

私にとってこの一年間は、理学療法士になりたいという思いが、より一層強くなった一年間であった。実技の時間が増え、運動療法学演習や体表解剖学実習などの科目を通して人の身体に触れ、評価することの難しさを痛感した。その中で、同じ夢に向かって努力する仲間の存在の大きさを改めて実感した。

一年生の頃は、一人で机に向かうことが中心であったテスト勉強も、二年生になってからは友人と知識を共有し、協力しながら取り組む機会が増えた。その結果、これまで以上に理解を深めることができた。ただ知識を覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」「どのように評価するのか」といった点についてクラスメイトと意見交換を行うことで、より深い学びにつながったと感じている。この経験は、成績の向上だけでなく、自身の学習に対する姿勢を大きく変えるきっかけとなった。内科学や病理学などの難しい科目に直面し、諦めそうになることもあったが、協力し合うクラスの雰囲気があったからこそ、最後まで取り組むことができたと感じている。

また、ボランティア活動を通して、自身の未熟さを痛感する出来事もあった。「ハムストリングスを伸ばしてほしい」という要望に対して十分に応えることができず、悔しさを感じた。この経験は、自分の課題を明確にする大きなきっかけとなった。

三年生では、臨床実習を通して理学療法士になるための基礎を確実に身につけるとともに、身の回りの小さな変化に気づける力を養いたいと考えている。全員で進級できるよう、クラス目標である「日進月歩」を胸に、一人ひとりが成長していきたい。また、国家試験に向けた学習にもこれまで以上に力を入れて取り組んでいきたい。

「三年生を振り返って」

理学療法学科昼間部4年 宮園海恋

3年生となり、基礎知識を活かした演習授業や専門的な授業が多くなりました。演習授業では治療プログラムやゴール設定など、最初はどのような考え方をしたら良いのか、何が患者様にとって最適なのか、わからないことだらけでした。その中で先生方にアドバイスをいただいたり、班のメンバーや友人と切磋琢磨しながら、徐々に良いレポートを作り上げていくことができたと思います。

循環器や義肢装具学などの専門的な授業では、自分がどんなことに興味があるのか、何をしたいのか、将来のビジョンを考えるきっかけとなりました。また、グループワークの授業が増え、それぞれ意見を出し合いながら良いものを作り上げていく経験をし、チーム医療を学ぶことができました。

9月には地域リハビリテーション実習がありました。初めての实習で、実際に理学療法を行っている先生方を見て勉強になることが多く、有意義な時間となりました。とても緊張しましたが、実習先の先生方にご指導いただいたり、利用者の方とコミュニケーションをとる中で、もっと知識・技術を磨いて患者様を支えることのできる理学療法士になりたいという気持ちがさらに強くなりました。

部活動では、3年間所属してきたバレーボール部で素晴らしい仲間と九州大会に出場することができて、本当に嬉しかったです。

次年度は最終学年となり、評価実習、総合実習、国家試験が控えているため、これまで以上に勉学に励み、同じ夢を目指す仲間と支え合いながら乗り越えていきたいです。

「最終学年を振り返って」

理学療法学科 昼間部 17期生 谷口慶太

4年生を振り返ると、充実した1年間でした。1年間に実習期間が3回と、そのまま国家試験期間へと入り、目まぐるしく月日が流れました。本当にあっという間に1年が終わりました。まず、実習では患者様らしい生活を取り戻すためには何が最優先であるかを考えることの大切さを学びました。また、患者様だけではなく、患者様のご家族や医療現場の方々の関わり方は、卒業後に社会に出る人間として必要なスキルだと感じました。沢山、壁にぶつかることもありましたが、指導者や学院の先生方の助言や指導を素直に受ける姿勢をとることで、自然と悩みに対して解決できるようになっていました。人の話を聞く時には、変なプライドは捨てて素直に耳を傾けることが大事だということを学びました。

国家試験対策は、「和衷協同」で取り組みました。和衷協同は私たちのクラスのチームテーマのようなものです。国家試験に限らず、何事もそうかもしれませんが、自分1人では限界があることを痛感しました。仲間と共に頑張ることで自分の限界値を上げることができたと思います。また、先生方が全力でサポートしていただいたおかげで、クラス全体の点数が上がった結果になったと感じました。先生方のサポートだけに頼らず、自分達が主体となって勉学に励むことが、何よりの成長に繋がるのではないかと思います。

私は4年生の時だけでなく、4年間の学生生活をかけがえのないものにすることができました。何をするにしても最後は自分次第だと思います。学生には自分を信じて、これからの道を歩んでほしいです。

【夜間部】

「1年生を振り返って」

理学療法学科1年 戸川弘輝

私たち20期生が九州中央リハビリテーション学院に入学してから一年が経過しました。社会状況が変化する中ではありましたが、大きな中断なく登校し、授業を受けながら学び続けることができたことに感謝しています。入学当初は新しい環境や人間関係、これまで触れてこなかった専門的な学習に対して不安もありましたが、先生方の温かい指導やクラスメイトの支えのおかげで、少しずつ学校生活にも慣れていくことができました。前期は、解剖生理学や運動機能学など、理学療法を学ぼうと基礎となる科目を中心に学びました。これまで経験のなかった分野であり、専門用語の多さや覚える内容の多さに苦勞することもありましたが、授業や復習を重ねる中で少しずつ理解を深めることができました。また、グループワークなどを通してクラスメイトと意見を交わす機会もあり、お互いに支え合いながら学ぶことができたことも印象に残っています。

後期になると学校生活にも慣れ、実技の授業も始まりました。教科書で理解しているつもりでも、実際に身体に触れて動作を行うと難しさを感じることも多く、試験勉強も含めて努力を重ねる必要がありました。しかしその経験を通して、理学療法士という専門職に少しずつ近づいている実感を持つことができた一年でもあったと感じています。

私は、国家試験の合格だけを目標にするのではなく、将来どのように患者さんに貢献できる理学療法士になれるのかということを常に意識しながら学習に取り組んでいきたいと考えています。同時に、理学療法士は患者さんの生活だけで

なく命にも関わる責任の重い仕事であるという自覚を持ち、医療人としての姿勢も少しずつ身につけていきたいと思っています。また、仕事をしながら勉強を続けているため、限られた時間をどのように有

効に活用するかを考えながら、日々の学習に向き合っています。

一年次で学んだ知識や経験は、これからの学習の土台になる大切なものだと感じています。これからも復習を大切にしながら理解を深めるとともに、単に知識を覚えるだけでなく、それをどのように臨床で活かすことができるのかを考えながら学習を続けていきたいと思います。二年次ではさらに専門的な知識や実技が増え、大変なことも多くなると思いますが、クラス全員で支え合いながら努力を続け、全員そろって三年生に進級できるよう頑張っていきたいと思います。そして将来は、患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、信頼される理学療法士へと成長していきたいと思いま

「2年生を振り返って」

理学療法学科夜間部3年生 西 呼人

私は現在、理学療法学科の夜間部に在籍し、日中は仕事に従事しながら学業との両立に取り組んでいます。仕事を終えてから登校し、講義や実技に臨む毎日決して楽ではなく、体力的にも精神的にも負担を感じることがあります。しかし、その一方で「理学療法士になりたい」という明確な目標があるからこそ、困難を乗り越える原動力となっています。

講義では解剖学や運動学といった基礎分野から、評価・治療に関する専門的な内容まで幅広く学んでいます。特に実技演習では、知識と技術が結びつく瞬間を実感でき、自身の成長を感じる貴重な機

会となっています。また、実際の症例を想定した演習では、自分の理解の浅さを痛感することも多くありますが、それがさらなる学習意欲へとつながっています。

夜間部の大きな特徴は、多様な背景を持つ学生が集まっている点にあります。社会人経験のあるクラスメイトや、異なる職種から転身を目指す仲間とともに学ぶことで、さまざまな視点や価値観に触れることができ、自分自身の考えを深めることができます。また、少人数である事から先生方の目も一人ひとりに行き届きやすく、生徒同士互いに励まし合い、時には切磋琢磨しながら学べる環境は、夜間部ならではの魅力であると感じています。また、限られた時間の中で効率よく学習を進める必要があるため、自己管理能力や計画性も自然と身につけてきました。忙しい日々の中でも学びを継続できていることは、自分にとって大きな自信となっています。

今後は臨床実習や国家試験に向けて、より専門的な知識と実践力が求められますが、「すべては患者さんのために」という原点を大切にしながら、「理学療法士になる」という目標のため日々の努力を積み重ねていきたいと考えています。そして、現場で信頼される理学療法士として社会に貢献できるよう、これからも学び続けていきます。

「最終学年を振り返って」

理学療法学科 夜間部 19期生 木村幸子

最終学年では、前期に臨床実習、後期に国家試験に向けた勉強に取り組みました。臨床実習では急性期・回復期・生活期と様々な病期を経験することができ、理学療法士として働く姿を具体的に考える貴重な機会となりました。私はこれまで社会経験はありましたが、医療の現場で働く経験はなく、患者様（利用者様）への接し方や、指導者の先生方、多職種の方々との関わり方に大きな不安を感じていました。そのような中でも、目の前の患者様（利用者様）のことを考え、

「今の自分に何ができるのか」を常に意識しながら学び続ける大切さを知りました。分からないことや悩んだことは先生方に相談し、ご指導をいただく中で新たな視点に気付くこともできました。多くの助言や支えがあったからこそ、不安な気持ちを乗り越え、前向きに実習に取り組むことができたのだと感じています。また、理学療法を実施するまでの評価や計画の過程だけでなく、その中での対話を通して患者様一人ひとりの背景や思いを理解し、その方にとって何が必要なのかを考えることが、理学療法士として重要であることをより実感しました。実習後には症例報告発表やOSCE（客観的臨床能力試験）も行われ、他の学生の発表から多くのことを学ぶとともに、自分自身に不足している部分に気付く良い機会にもなりました。

国家試験対策の勉強が始まると同時に模擬試験が行われました。それまでどこか他人事のように感じていた国家試験が、結果を見た瞬間に一気に自分のこととして実感したことを覚えています。不安ばかりが募りましたが、これまでの甘い考えを改め、先生方を信じ、気持ちを切り替えて勉強に向き合いました。私は

人見知りで班活動もあまり得意ではないため、国家試験対策も一人で勉強して乗り切ろうと考えていました。しかし、分からない部分を聞き合ったり、班のメンバーが互いに質問し合う姿を見たりする中で、この環境の中で学び続けてみようという気持ちに変わっていきました。一日の学習目標や定期的な試験を重ねる中で、班のチームワークは次第に高まり、「みんなで絶対に合格する」という強い気持ちを共有できるようになりました。国家試験が近づくにつれて不安や緊張もありましたが、班員と励まし合いながら学習を続けた時間は、安心できる大切な居場所となっていました。勉強だけでは得ることのできない貴重な時間と出会いを得られたことも、この学生生活の大きな財産だと感じています。

卒業後は、生まれ育った地域で働きたいという思いと、実習を通して内部疾患における障害に対する理学療法をさらに深めたいという気持ちから就職先を決めました。今後は個別性のあるリハビリテーションを提供できる専門職として、多くの出会いの中で切磋琢磨しながら成長し続けられるよう努力を重ねていきたいと思います。これまで支えてくださった先生方、実習先の指導者の皆様、そして共に学び励まし合った仲間たちに心より感謝いたします。

1年間の出会いの中から見つけた真実の夢 ～私は助産師になる～

看護学科1年 村上 遥

入学前は、ずっと夢だった助産師になるための勉強が始まるということにワクワクしていました。しかし、実際の学生生活は想像していた事と違い、「報告・連絡・相談」「時間を守ること」は、患者様の安全を守り、迷惑がかからないために大事なことになることを学びました。そのことは、専門職として社会に出るためには、根拠に基づいた考え方や責任をもって個人の役割を果たすことが必要で、「知識」だけでなく、看護学生になるための態度で身に着けることの勉強もとても大変なのだと分かってきました。

また、単位を落としたくないというプレッシャーや、今までで一番勉強しても自分の目標に達することができなかったという悔しさも経験しました。一つ一つのことが難しく、精神的にも体力的にもきつくなり、何度も諦めそうになりました。しかし、応援してくれる両親や友達の気持ちにこたえたいと思い、頑張ってきました。少しずつ慣れてくると、心にも余裕が持てるようになり、友達と一緒に技術練習をしたり、勉強をしたり、「楽しい」と思うことも増えてきました。

初めて患者様を受け持った実習では、患者様とお話することがとても楽しく、この方のために何かしたいという思いでいっぱいになりました。精一杯の援助を実施したのですが、「もっとできることがあったのではないか」という課題も見つかり、もっと頑張りたいと思うようになりました。

1年生が終わるころ、「2年生になる、本当に自分は頑張ることができるだろうか」と思う気持ちと、「1年生で達成することができなかった目標を絶対達成する」という気持ちが入り混ざってきました。しかし、両親や患者様から頂いた励ましや感謝の言葉を思い出し、今では、「ここまで頑張ったんだから自分はできる」という気持ちになっています。そして、夢である助産師になるためには、もっと頑張らなければならないと強く思っています。

「信頼される看護師をめざして」

看護学科 3年 飯田 紗嬉

私は、看護学校に入学する前は勉強する習慣が身についておらず、「看護学生は勉強が大変」、「忙しそう」、「睡眠不足になるのでは」というイメージが強く、私が続けていけるのだろうかと不安な気持ちでいっぱいでした。実際にどの学習も高校までとは違い専門的な講義がほとんどでどのように学習すればいいのかと悩むことが多くありました。先輩や先生方のアドバイスを受けながら自分なりに勉強方法を工夫しながら少しずつ分かるようになりました。時には自分一人では解決できないことも友達のを借りて進むことができました。

学び始めた当初は患者様に苦痛を与えないことが重要と考え、「苦痛を与えないためには技術を素早く終わらせることができる看護師になりたい」、「仕事をこなせる看護師になりたい」と考えていました。しかし、ある患者様との出逢いが私のこの考えに変化を与えることになりました。

これまでの講義や技術演習で学んだことを活かしながら先生方の指導の下、看護の実践者を目指して臨地実習に取り組んでいます。その中で出逢った患者様は日常生活に一部介助を要する老年期の男性でした。はじめは発語が少なく私も緊張していました。継続的に訪室してコミュニケーションを重ねることで、徐々に自身の状態や、これまでの生活、今の気持ちなどを話してくださるようになりました。入院前は歩行器で活動することが可能だったが、入院後は臥床時間が増加していることを知りました。そこで、車いすに移乗して食堂での食事や日光浴の機会を提案しました。すると患者様の表情が変わり笑顔を見ることができました。私は、とても嬉しく、受持ち患者を通して看護のやりがいを感じました。

このことから患者様の個別性を踏まえた援助の重要性を学びました。しかし、担当の理学療法士との会話から、実習期間の出来事の中には学生である私には話されていないことがあることを知りました。これまでのコミュニケーションの中で、患者様から話されることが増え信頼していただけていると感じていましたが、患者様のことのすべてを知ることは簡単ではないということを痛感しました。また、自分一人で患者様を支えるのではなく多職種との連携の重要性を改めて実感しました。

今後は、患者様とその家族から信頼していただけるように看護学生としての自覚を持ち実践力を身に着けていくため努力していきます。そして、患者様の思いを傾聴し、希望をかなえられる様に患者様一人ひとりと十分に向き合い、安心して療養生活を送っていただけるような看護を目指していきます。

III-4 CW 在校生と卒業生の声

【介護福祉学科】

「1 年生を振り返って」

介護福祉学科 1 年 吉田文菜

介護福祉士を志望した私は、2 年間で国家資格を取得し、いち早く就職、社会の役に立てるカリキュラムがある九州中央リハビリテーション学院に進学しました。

入学後は 7 月から始まる 10 日間のデイサービスでの実習に向けて友人たちと演習や座学に取り組み、実習初日を迎えました。すべてが初めてのことで緊張していましたが、指導者の方や職員の方々が優しく接し丁寧に教えてくださったおかげで楽しく学ぶことができました。

10 月から始まった 2 回目の実習は 1 回目とは異なり介護施設で約 1 か月という長期間で本格的に生活支援技術や介護計画を学ぶ実習でした。食事介助、排泄介助や入浴介助等のいろいろな介護を体験させていただきました。職員の方々と一緒に介護を行う中で、分からないところはすぐに質問することができ、実践を通して学びを深めることができました。同時に足りない点についてはアドバイスをいただき、それを基に再度実践し修正することができました。実習の課題では、介護計画の作成もあり、担当利用者様にあった計画を立案する必要がある難しさを感じました。介護計画について悩んでいる際には、指導者の方や職員の方々が提案してくださり、それを基に計画を立てることができましたが、大変でした。しかし、職員の方々の動きや気づきを学ぶことができ、良い経験となりました。

学院生活では、同じ目標を持つ者同士励まし合いながら頑張ることが出来、たくさ

んの友人たちに囲まれて毎日充実した日々を過ごしています。

2 年生で行なわれる実習は学生生活最後の実習となります。これまでの経験を活かして、学びをより深めるように努めたいです。また授業のみならず後期から始まる国家試験対策や就職活動も、両立できるように頑張ります。そしてクラスメイト全員笑顔で卒業式の日を迎えられるよう、与えられた課題・目標に対し最後までしっかりやりとげることができるようこれからも精進していきます。そして、当初の目標である介護福祉士として超高齢社会に貢献できる人材になりたいと思います。

「2 年間で振り返って」

介護福祉学科 2 年 豊田結那

学院で過ごした 2 年間は、楽しいことも大変なことも沢山ありましたが、あっという間でどれもいい思い出です。

授業では生活支援技術やこころとからだのしくみなどの基本的なことからメイクアップや音楽、アロマなど、より利用者様に快適に過ごしていただくための、応用的なことなど幅広い知識を身につけ視野を拡げることができたと思います。入学当初は、友達ができるのか、2 年間という短い期間で成長できるのか不安いっぱいでした。スタートした学生生活でしたが、この期間をとおして勉強や実習のことで壁にぶつかった時にはクラスメイトや先生方に何度も助けられました。同じ目標を持つ仲間と一緒に頑張ることができ、先生方はどんな時も寄り添ってくださって、随所に適切なアドバイスをしてくださいました。こんなにも安心して学習できる環境で学生生活を過ごすことがで

きて、とても幸せで実りある2年間でした。

来年度からは自宅を離れ、就職しますが、
ここで学んだことを誇りに、常に利用者様
に寄り添い、笑顔を増やせる介護福祉士に
慣れるよう努力していきます。

Ⅲ-5 ボランティア活動

学生自治会のボランティア委員会、介護福祉学科ボランティアサークルクローバーを中心に積極的にボランティア活動を行っております。

学生自治会ボランティア委員会

	日程	活動場所	活動内容	参加者
1	5月31日	2025年ソーシャルフットボール九州大会	運営のサポート、トレーナーブースでの活動	35
2	9月7日	2025年金峰山チャレンジトレイル	トレーナーブースでの活動	8
3	11月30日	Run for Sweets in カントリーパーク	運営のサポート、トレーナーブースでの活動	7
4	3月8日	第2回オープンキッズ福祉・医療のこどもおしごと体験	医療・福祉ブースでのサポート	11

介護福祉学科ボランティアサークルクローバー

	日程	活動場所	活動内容	参加者
1	4月18日	ミャンマー地震募金活動	募金箱の設置、募金の呼びかけ	5
2	5月10日	デイサービスレクリエーションボランティア	レクリエーションの補助、お茶出し	2
3	6月29日	認知症カフェ	お茶出し、レクリエーションの補助	6
4	7月24日	特別養護老人ホーム夏祭り	準備(テント設営、機材の搬入)、利用者の介助	2
5	8月18日	熊本駅清掃活動	熊本駅周辺のゴミ拾い	5
6	9月7日	2025金峰山チャレンジトレイル	給水、コース誘導	7
7	9月27日	障害者支援施設秋祭り	準備(テント設営、機材搬入)、利用者の介助	5
8	10月18日	障害者支援施設秋祭り	準備(テント設営、機材搬入)、利用者の介助	4
9	10月25日	障害者支援施設秋祭り	準備(テント設営、機材搬入)、利用者の介助	1

Ⅲ 学生生活

Ⅲ-6令和7年度就職説明会(理学療法学科・作業療法学科)来校型

日時:7月24.25日 9月27.28日 10時、15時～ 場所:九州中央リハビリテーション学院1号館

参加施設

都道府県	施設名	都道府県	施設名
熊本	桜十字熊本宇城病院	千葉	富家千葉病院
	平井整形外科リハビリテーションクリニック		季美の森整形外科・令和リハビリテーション病院他
	阿蘇温泉病院		千葉西総合病院
	熊本託麻台リハビリテーション病院		らいおんハート内科整形外科リハビリクリニック
	リハビリテーションセンター熊本回生会病院		行徳総合病院
	くまもと南部広域病院		千葉西総合病院
	医療法人 むすびの森		五反田リハビリテーション病院
	御幸病院		タムスグループ
	成尾整形外科病院		春山記念病院
	寺尾病院		南山リハビリテーション病院
	介護老人保健施設 白梅の里		総合東京病院
	朝日野総合病院、十善病院、球磨病院、光生病院		田中吉祥寺病院
	リハビリセンターsmile-スマイレ-		IMS(イムス)グループ
	リハビリ特化型デイサービス リスタ		リハビリ特化型デイサービスリハテラス
	悠紀会病院		医療法人社団メドビュー
	平成とうや病院	埼玉	埼玉セントラル病院
	にしくまもと病院		医療法人社団富家会
	人吉リハビリテーション病院		戸田中央メディカルケアグループ(TMG)
	歩行リハビリセンターHOKORU	神奈川	イムス横浜狩場脳神経外科病院
	天草中央総合病院		鶴巻温泉病院
	天草慈恵病院	大阪	堺リハビリテーション病院
	桜十字八代リハビリテーション病院		医誠会国際総合病院
	西日本病院		馬場記念病院
	介護老人保健施設 清風苑		青山メディカルグループ
	熊本機能病院		医療法人吉栄会
	社会福祉法人 駿光会		株式会社アクティブ／医療法人こうじょう会
	谷田病院	兵庫	日の出医療福祉グループ
	大阿蘇病院	京都	京都リハビリテーション病院
	鶴田病院		京都大原記念病院グループ
	球磨郡公立多良木病院	福岡	石井リハビリクリニック
	株式会社グローバル介護サービス		聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター
	桜十字病院		久恒病院
	杉村病院		(医)恵光会 原病院
	水前寺とうや病院		福岡県済生会大牟田病院
	菊南病院		済生会二日市病院
	上代成城病院		福岡記念病院
	天草セントラル病院/天草厚生病院		まつもと整形外科クリニック
	熊本整形外科病院		福岡みらい病院
	宇城総合病院		社会保険 大牟田天領病院
	武蔵ヶ丘病院	大分	天心堂 へつぎ病院
	熊本セントラル病院		医療法人大場整形外科
	青磁野リハビリテーション病院		社会医療法人帰巖会 みえ病院、臼杵病院
	南熊本病院	長崎	池田病院
	桜が丘病院		社会医療法人財団 白十字会
	介護老人保健施設新清苑		愛野記念病院
	有明成仁病院・聖ルカ苑	宮崎	小林市立病院
	介護老人保健施設リバーサイド御薬園		今村総合病院
	平成病院	鹿児島	恒心会おぐら病院
	八代敬仁病院		種子島医療センター
	山鹿温泉リハビリテーション病院		クオアリハビリテーション病院
	松原リウマチ科整形外科		青雲会病院
	あけぼのクリニック	沖縄	ハートライフ病院
	済生会みすみ病院		西崎病院
	湧上クリニック		
	熊本脳神経外科病院		
	熊本地域医療センター		

Ⅲ－7就職

【理学療法学科 昼間部・夜間部 作業療法学科】

令和7年度の卒業生は理学療法学科昼間部69名、夜間部23名、作業療法学科18名の計110名であった。
それに対し、総求人件数は504件、総求人数は4,050名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人 件数	求人 数
九州	熊本	112	339
	福岡	69	210
	長崎	9	42
	佐賀	10	24
	大分	20	93
	宮崎	14	39
	鹿児島	22	96
	沖縄	6	47
四国	愛媛	2	11
中国	山口	4	15
	広島	8	45
	岡山	1	10
	島根	1	2
近畿	和歌山	1	6
	奈良	4	10
	兵庫	15	127
	大阪	39	356
	京都	12	158
東海	愛知	3	33
	静岡	1	30
関東	神奈川	37	402
	東京	57	1,202
	千葉	29	346
	埼玉	21	359
	群馬	1	6
	栃木	1	10
	茨城	1	1
	山梨	1	16
東北	岩手	1	2
北海道	北海道	2	13
合計		504	4,050

【就職先】

作業療法学科	
県別	就職先
熊本	熊本リハビリテーション病院
	桜が丘病院
	桜十字病院
	桜十字熊本宇城病院
	西日本病院
	青磁野リハビリテーション病院
	平成病院
	八代敬仁病院
	くまもと成城病院
	メディケア癒やしDX 長嶺
	こども発達支援ステーションキャンパス
	一般社団法人こどもサポートセンターあそら
	済生会みすみ病院
	熊本地域医療センター
東京	リハビリセンターsmileスマイル 光の森
	板橋中央総合病院

理学療法学科 夜間部	
県別	就職先
熊本	熊本回生会病院
熊本	阿蘇温泉病院
熊本	鶴田病院
熊本	天草慈恵病院
熊本	天草中央総合病院
熊本	八代敬仁病院
熊本	平成とうや病院
熊本	リハビリデイ ほっと＋プラス
熊本	整形外科桜木クリニック
熊本	九州記念病院
熊本	桜十字八代リハビリテーション病院
熊本	武蔵ヶ丘病院
熊本	桜十字くまなん病院
熊本	熊本セントラル病院
熊本	すまいる緑寿
神奈川	湘陽かしわ台病院
福岡	誠愛リハビリテーション病院
長崎	コムタ外科・整形外科医院
鹿児島	クオラリハビリテーション病院

理学療法学科 昼間部	
県別	就職先
熊本	済生会熊本病院
熊本	桜十字病院
熊本	熊本回生会病院
熊本	阿蘇温泉病院
熊本	菊南病院
熊本	球磨郡公立多良木病院
熊本	球磨病院
熊本	熊本セントラル病院
熊本	熊本リハビリテーション病院
熊本	熊本託麻台リハビリテーション病院
熊本	くまもと成城病院
熊本	桜十字八代リハビリテーション病院
熊本	西日本病院
熊本	寺尾病院
熊本	松原リウマチ科整形外科
熊本	甲斐整形外科
熊本	うえの整形外科クリニック
熊本	おおつか整形外科
熊本	谷田病院
熊本	鶴田病院
熊本	田上心臓リハビリテーション病院
熊本	八代敬仁病院
熊本	平成とうや病院
熊本	保田窪整形外科病院
熊本	湧上クリニック
熊本	ハイコムライフ武蔵ヶ丘
熊本	きぬはら整形外科クリニック
熊本	メディケア癒し京町台
熊本	阿蘇立野病院
熊本	杉村病院
熊本	悠紀会病院
熊本	熊本地域医療センター
熊本	後藤整形外科医院
熊本	南熊本病院
熊本	熊本労災病院
熊本	城山病院
熊本	熊本田崎クリニック
熊本	くまもと温石病院
熊本	たつだ整形外科
熊本	株式会社ソラヒロ
千葉	船橋整形外科病院
	おゆみの中央病院
	らいおんハート整形外科リハビリクリニック
神奈川	相模大野リハビリ テーション病院
静岡	静清リハビリテーション病院
大阪	医誠会国際総合病院
	耳原総合病院
福岡	北九州市立門司病院
	南川整形外科病院
	小倉リハビリテーション病院
	メディケア癒やし今宿
鹿児島	舌間整形外科
	クオラリハビリテーション病院

Ⅲ-7就職

【看護学科】

令和7年度の卒業生は57名であった。

それに対し、総求人件数は170件、総求人数は4,097名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数
九州 101件 1,122名	熊本	55	396
	福岡	22	349
	長崎	5	86
	佐賀	3	128
	大分	4	10
	宮崎	3	11
	鹿児島	8	82
	沖縄	1	60
近畿 19件 549名	奈良	2	2
	兵庫	2	160
	大阪	10	302
	京都	4	84
	滋賀	1	1
東海 9件 324名	愛知	5	68
	静岡	3	255
	岐阜	1	1
関東 41件 2,102名	神奈川	11	320
	東京	17	993
	千葉	5	338
	埼玉	5	380
	栃木	3	71
合計		170	4,097

【就職先】

県別	就職先
熊本	熊本医療センター
	熊本機能病院
	くまもと森都総合病院
	くまもと県北病院
	くまもと南部広域病院
	熊本セントラル病院
	熊本再春医療センター
	熊本整形外科病院
	熊本赤十字病院
	熊本総合病院
	熊本大学病院
	済生会熊本病院
	人吉医療センター
	西日本病院
	福田病院
	平成とうや病院
	江南病院
	十善病院
	宇城総合病院
東京	東京西徳洲会病院
神奈川	横浜旭中央総合病院
愛知	名古屋記念病院
福岡	医療法人社団 高邦会
	原土井病院
長崎	諫早総合病院
	池田病院
宮崎	野尻中央病院
鹿児島	米盛病院

Ⅲ-7就職

【介護福祉学科】

令和7年度の卒業生は20名であった。

それに対し、総求人件数は138件、総求人数は604名であった。

【求人状況】

地域	県別	求人件数	求人数
九州 98件 266名	熊本	56	121
	福岡	23	66
	佐賀	4	17
	長崎	4	33
	大分	4	15
	宮崎	2	4
	鹿児島	4	9
	沖縄	1	1
中国 3件 10名	岡山	2	7
	山口	1	3
近畿 12件 64名	京都	1	1
	大阪	6	53
	兵庫	5	10
東海 7件 44名	静岡	1	20
	愛知	6	24
関東 15件 205名	埼玉	1	10
	東京	7	167
	神奈川	7	28
東北 3件 15名	青森	3	15
合計		138	604

【就職先】

県別	就職先
熊本	社会福祉法人 白川園
	特別養護老人ホーム 菊香園
	障害者支援施設 くぬぎ園
	(株)スローライフ芳寿会
	特別養護老人ホーム 水生苑
	グループホーム 潤
	グループホーム郷
	リデルライトホーム
	(株)SENSTYLE
	社会福祉法人 清和会 つくしの里
	小国町社会福祉協議会
	特定非営利活動法人 あやの里
	特別養護老人ホーム 輝祥苑
	(有)誠心会
	くまもと県北病院
	社会福祉法人 健成会
福岡	社会福祉法人 共栄福祉会
	社会福祉法人 福岡光明会

Ⅲ-7就職

【デジタルソリューション学科】
令和7年度の卒業生は12名であった。

【就職先】

県別	就職先
熊本	九州デジタルソリューションズ(株)
	(株)R K K C S ソフト
	(株)九州ソフタス
	(株)K I S
	(株)電盛社
	(株)永伸
	(株)テクノアート
	アルサーガパートナーズ(株)
	補聴器センター令和
	個人事業主
福岡	(株)B R E X A N e x t

Ⅲ-7 卒業式・学生表彰

令和8年3月6日（金曜日）来賓、保護者、学院関係者が見守る中、熊本県立劇場 コンサートホールにて卒業式が挙行された。作業療法学科17期生18名、理学療法学科17期生69名、理学療法

学科夜間部18期生23名、看護学科15期生57名、介護福祉学科14期生20名、デジタルソリューション学科1期生12名の計199名に対し卒業証書を授与した。また関係団体等から表彰が授与された。

（表1）

学生表彰（表1）	作業療法学科	理学療法学科(昼) 理学療法学科(夜)	看護学科	介護福祉学科	デジタルソリューション学科
全国リハビリテーション学校協会「優秀賞」	村上莉乃	青木由紀子 永田 賢	🌸	🌸	🌸
日本理学療法士協会「優秀賞」	🌸	谷口慶太 木村幸子	🌸	🌸	🌸
日本作業療法士協会「優秀学生証」	笹田雄太	🌸	🌸	🌸	🌸
日本介護福祉士養成施設協会「会長表彰」	🌸	🌸	🌸	大久保風渚	🌸
財団法人職業教育・キャリア教育財団「学習者表彰」	渡邊 恵	村岡祐星 嘉副有沙	片山奈々代	山口有希	川端悠仁
九州作業療法士学校連絡協議会「学業優秀賞」	小西美鈴	🌸	🌸	🌸	🌸
熊本県専修学校各種学校連合会会長表彰	宮部 栞	後藤麻里伽 野中奎輔	岡本真桜	田代銀平	立山慧大
熊本県作業療法士会「会長賞」	萩平きらら	🌸	🌸	🌸	🌸
熊本県介護福祉士会「会長賞」	🌸	🌸	🌸	桑原翔悟	🌸
学校法人立志学園理事長表彰	松村優杜	浦口陽向 藤本晴喜	木村瑠紅	豊田結那	橋口侑生
九州中央リハビリテーション学院後援会会長表彰	清田実咲季	大島朱李 遠藤真由美	宮川美月姫	村田香穂	野村璃輝



理学療法学科

令和7年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



理学療法学科夜間部

令和7年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



看護学科

令和7年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



介護福祉学科

令和7年度 学校法人 立志学園
九州中央リハビリテーション学院 卒業式



令和7年度 学校法人 立志学園

九州中央リハビリテーション学院 卒業式

デジタルソリューション学科



IV教育活動

1, 作業療法学科・理学療法学科

【作業療法学科】

1、入学前の取り組み（入学前学習課題・仲間づくり・入学前講義・オリエンテーション）

（目的）

- 1) 4 月からスムーズに専門的学習に移行できるように入学後の学習についてイメージ化してもらい興味を刺激し、新しい学習に対し意欲を持ってもらう。
- 2) 入学まで規則正しい生活をして、学習習慣を持ってもらう。
- 3) 質問できるようにしてもらう。

（実施内容）

- ①入学前教育プログラムの導入（平成 29 年 4 月入学生から開始した。）
 - ・入学が決まった学生に対して随時、テキストと課題を郵送し自己学習を進めてもらう。
- ②入学前セミナーの開催（11 月～3 月にかけて計 3 回）
 - ・郵送した課題の確認テストの実施。
 - ・講義の実施。
 - ・LTD（共同学習）による能動的学習と仲間づくり。
 - ・i-PAD による学習方法の紹介（解剖生理学、運動機能学）と実施。
- ③入学前オリエンテーションの実施
 - ・学校生活全般についての説明（進級規定ほか）。

（本年度の状況）

※ 昨年度、遅刻や無断欠席が増えたが事務と連携し連絡を徹底させたことで、本年度は減少した。

2, 入学後の取り組み

（目的）

- 1) 新しい環境への適応を支援する。
- 2) 学生の変化を早く気づく。

（実施内容）

- 1) 入学後、担任による面接、その後も相談しやすい体制をつくる。
- 2) 欠席等の連絡を徹底させる。
⇒2025 年度入学者より事務部門の省力化により、欠席の連絡を学院電話から事務を通して各教員に連絡することができなくなった。
そのため、1 年生は前期のみ学科携帯へ直接電話し、後期はメール連絡とした。
（後期は、3 年生が実習前の報告練習として、学科携帯へ欠席連絡をするため）
※結果、「電話にて欠席連絡をさせる」ことで、欠課・欠席を減らす効果は明らかであった。
- 3) 基礎セミナー、ホームルームを活用して解剖生理学、運動機能学の課題を提供し、勉強の仕方の指導、学習習慣の確立を図る。
- 4) 解剖生理学や運動機能学の小テストを導入してもらい、成績が振るわない学生は、担任・副担任に加え、必要により他の教員も含め早めに学習会等で担当制を敷き対応することで相談しやすい環境をつくる。
⇒特に非常勤講師間で対応や内容に差があり今後理解を得る必要がある。（進級ありきの対応にならないことも重要である。）
- 5) 欠席が目立ってきた学生など問題学生は、早め早めに保護者と連携する。

3、全学年を通しての取り組み

- 1) ホームルームを週 1 回開催する。
 - ・学生の変化に気づき易い機会と声かけやすい環境をつくる。
- 2) 前期末試験で再試が 1/2 以上の者については、保護者に直接連絡を取る。
 - ・学生自身の自覚、保護者のリスク認知、改善策の共有化を図る。

- 3) 上下間の学生交流を意図的に図り、下の学年が上級生をモデル化認知することで職業観を育て、学習意欲を刺激する。
 - ・1年生が「作業療法概論演習」などフィールドワーク時に上級生に車いす操作等の指導をしてもらう。
 - ・2年と3年生が共同で本学院関連施設（グループホームや小規模多機能事業所）にて実技演習実施。
⇒10月17日～11月14日（週1回程度）、1月9日に合同で成果発表した。
 - ・2年生の「基礎作業学」の授業で1年生にモデルになってもらい、現場で必要な説明能力やコミュニケーション能力を養う。
- 4) 「第41回くまもと車いすふれあいジョギング大会」へ1年生がボランティアとして参加。（10月13日）
- 5) 2023年度より、自己覚知及び学習意欲を高めこと目的に進級直後の4月上旬に2年生から4年生まで講堂に一堂に会し、過去の国家試験から実力テスト「下剋上試験」を実施しているが、本年度は行事の関係で4年生は3月28日、2・3年生は3月31日と分かれての実施となった。
⇒本年度は、4年生の1番の成績を上回る者が3年生に3名出たので、「下剋上達成者」として表彰した。

4、国家試験対策の取り組み

本年度の最終学年は、例年になく日常生活の管理の面や学習状況に不安がある学生が多かった。実習も例年ない数の3名もの学生が再実習となった。このような状況を踏まえ国家試験対策も例年の対応に大幅な追加支援を計画した。

まず、国試対策本「クエスチョンバンク（QB）」を共通問題から分野別にグループ学習ことから開始したが、以下の通り細かな対応策を講じた。

- 1) 毎日の国試過去問ミニテスト（10/1～2/20）
 - ・夕方：分野別に30～40問出題、12月中旬より100問程度出題
 - ・模試の点数の報告（スプレッドシートで共有）
⇒入力できていない学生には繰り返し指導する。
 - ・学習内容に関する振り返り
学習状況：良かった点、反省点、明日にどう活かすか。
学習班及び個人で毎日実施。
⇒入力できていない学生には繰り返し指導。
- 2) 学習時間の段階的な延長と報告
 - 10月～11月：1日8時間（1週間56時間）
 - 12月：1日9時間（1週間63時間）
 - 1月～2月10時間
 - 1週間当たりで目標時間を設定
⇒学習時間については、毎日担任へ報告をする（スプレッドシート内）ことで、1日の振り返りと入力作業を通して1つの習慣化を目指す。他者の状況を確認できることで反省等促す。
- 3) 特別対応学生（超特別対応学生も含む）の抽出
 - 1クール目の解剖運動生理学で実施したテストを夕方課題（11月ごろ）で実施。点数の得点率が低かったものを早期に抽出。対応を行う。
- 4) ミニテストのまとめテスト（12/8～12/19）
 - ・昼100問、朝100問
- 5) 過去問テスト（昼100問、翌朝100問）の出題内容を能力別に2グループに分ける（12/22～2/20）
 - ①業者模試過去問グループ、②国家試験過去問グループ
- 6) 年末課題
 - ・精神科過去問10年分に加えて、3点問題10年分、解剖運動生理学10年分を実施。
 - ・過去問100問の配信は例年通り実施。
- 7) 成績が伸びない学生に朝学習
 - ・国家試験1ヶ月前から8時から9時までの学習を実施。（国試の過去問を中心に）
- 8) その他
 - ①進捗状況に応じた学習環境の変更（学習室：問題のない学生、教室・木工室：特別対応学生、ADL室：超特別対応学生、手工芸室：リトライ生
 - ②特別講義へ「参加させない」学生の検討

特別講義への参加レベルに達していない学生を抽出し、これら 6 名に対しては 3 点問題特訓などを別に実施

- ③超特別対応学生（3 名）に関しては 5 年分の過去問を繰り返し学習させる。一つの設問に対して、正誤の理由を記載し、オリジナル問題集を作成。それをベースにスマコクで何度も問題を解く。

(国家試験結果)

現役 18 名、学院プログラム参加の既卒 3 名（合計 21 名、100%合格）

ただし、既卒者の中で学院プログラム離脱者 1 名含む 2 名不合格のため全体の合格率は 91.3%となった。

5, 就職状況について

1 名が 1 月上旬になったものの、その他の 17 名は全て年内に内定した。

(内訳) 12 名（身障病院）、2 名（精神科病院）、2 名（児童デイ）、1 名（高齢者デイ）、1 名（一般企業）

一般企業の 1 名は、高齢者施設に年内に内定していたものの諸事情で、親戚の会社を手伝うことになった。また、県外（関東に女性 1 名）が就職した以外は、県内就職となった。

【理学療法学科（昼間部・夜間部）】

少子高齢化問題は、日本国全体での問題ではあるが、入学受験者数の減少は学院存亡にかかわる問題として早期対策が重要課題となっている。また、学生自身が抱える問題もより複雑化しており、サポート委員会が担う内容も過多となってきた。

学科として継続目標となるが、「休学・退学者の減少」、「国家試験全員合格」を目標に脱落者がいないような取り組みが重要課題としている。

1. 学生動向

	在籍数	休学	退学	留年	進級	備考
昼間部1年	39	0	3/1	0	35	7名は未修得科目有り
2年	59	0	4/3	2	50	10名は未修得科目有り
3年	75	0	9/0	5	61	
4年	69	0	0	0	69	
夜間部1年	8	0	1	1	6	1名は未修得科目有り 1名は介護学科へ転科
2年	12	0	2	0	10	
3年	24	1	0	0	23	経済問題にて1年間休学

通常、昼・夜1年次に退学者が多く認められることが多かったが、今年度昼間部3年次の前期に9名の退学者が出たことはこれまでにない傾向であった。通常は進級に従い理学療法士に対するモチベーションも構築され、必死に学習する姿勢が認められたが、学生間に温度差があり、生活態度も含め医療人となるべき資質の育成が十分でなかったと思われる。これまでの担任の介入方法では、と悩むことはできるが、いまだ改善法は皆無であり、次年度の取り組みを通して改善法を検証していきたい。

◆教育体制

前年度から引き続き国家試験を見据えた講義内容を実施している。6割学習（合格）基準から84%へと基準目標を変容させることから始まり、「リ・あ・か」を徹底させることで国家試験に必要な基礎知識を早期に身につかせることで育成強化を図ることを使命としている。また、臨床実習においては、指導力に差を感じることがあるが、医療現場の複雑化により提供できないことも多くあり、学習経験に不足する点もあるが、逆に自由に学習する時間が与えられたことで良き変容する学生も認められた。

学生と教員（担任）間に関係性が破綻する場面が認められたことは反省すべきことである。一学生として扱う場合と、大人として、社会人として、女性としてなど、その立場は、その時々に変容するため、よく観察し場面对応ができるように自らのスキルアップの重要性が感じられた。

◆国家試験【第61回理学療法士国家試験】

	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	12,951人	12,436人	11,156人	89.7%
（うち新卒者）	11,824人	11,366人	10,782人	94.9%
九中リハ 新卒	90人	90人	88人	97.7%
九中リハ リトライ	5人	5人	5人	100%

今回、全国平均を上回る結果となったが、ぎりぎりまで6割（合格ライン）を割り込む学生が多数おり、問題次第では15～20名程度が不合格となるのではと緊張感を持った国家試験であった。

次年度も今回不合格となった2名も含め、数名に再チャレンジを検討している卒業生がいるため、受け入れ態勢も含め長期対応・対策に見直しが重要と考える。

◆次年度目標

- 1 進級率の改善
- 2 入学者確保
- 3 国家試験全員合格

第 115 回 看護師国家試験について

1. 試験の概要

1) 問題の種類・特徴・合格基準

問題種別	必修問題	一般問題	状況設定問題
問題内容	看護師としてとくに基本的かつ重要な知識及び技術について出題される。基本的な知識を問う。	解剖生理から疾患、看護まで幅広く出題される。4 肢択 1 問題または、5 肢択 1 または択 2 問題。基礎から応用まであり、各領域満遍なく出題。	在宅にシフトした現場レベルの問題が多く応用力や判断力が求められる。知識を医療現場で活用できること、臨床推論の力が試される。
出題数	50 問 (午前・午後 問題 1～25)	130 問 (午前・午後 問題 26～90)	60 問 (午前・午後 問題 91～120)
配点	1 問 1 点	1 問 1 点	1 問 2 点
合計点	50 点	130 点	120 点
合格基準	絶対評価 80% (40/50 問) *第 115 回 40 点	例年 90%前後の相対評価 (/250 点) *第 115 回 166 点/249 点 (不適正問題 2 問のうち 1 問除外)	

2) 出題基準：厚生労働省「保健師助産師看護師国家試験出題基準」にのっとり出題される。

基礎分野を除く(土台とし)専門基礎分野、専門分野の全て

※受験条件：修得すべき単位数と時間 103 単位 2775 時間 (うち臨地実習 24 単位 720 時間)

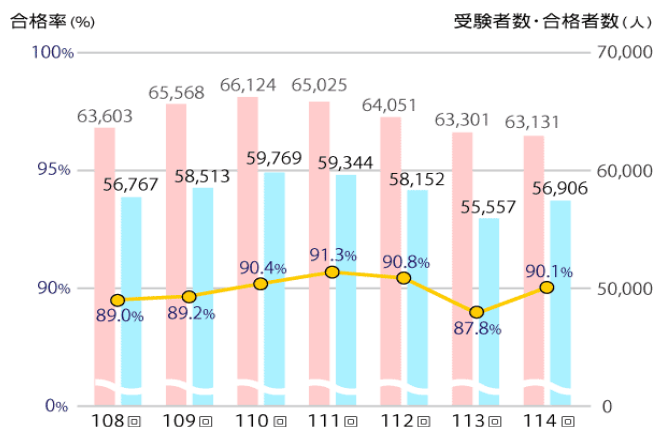
3) 解答形式：選択肢選択 (マーク式)

4) 試験時間：午前 2 時間 40 分 (160 分)

午後 2 時間 40 分 (160 分)

5) 合格発表：令和 8 年 3 月 24 日 (火) 午後 2 時

■ 受験者数 ■ 合格者数 ● 合格率



【対策】

1 年生：1 年次から計画的に学習をする。

- ・土台となる解剖生理学、病態生理学の習得
 - ・テキストを読解できる(専門用語含む)←国語力が必須
- 2 年生：履修した科目を関連付け横断的に学習できる力
- 3 年生：1, 2 年生で履修した科目を臨地実習で活用し専門的に(科学的根拠のもと)判断できる力をつける。
- ・健康管理(通年)臨地実習、課題が多い

※約 6 万人が受験し 90%前後の合格率で推移している。

現カリキュラムは、「コミュニケーション能力のさらなる強化」、「臨床判断能力や倫理的判断・行動に必要な基礎能力を養う」とある。医療の動向や社会のニーズに対応できる人材かどうかをねらいとし試験内容が定められている。

2. 今年度の実績

1) 新卒受験者 57 名 合格者 54 名 (94.7%)

2) 既卒受験者 3 名 合格者 2 名 (66.7%) *開設以来、卒業生全員看護師国家試験資格取得済み

*不合格者については、現役学生同様に指導し、次年度の国家試験の合格を目指す。

IV-3-1 介護福祉学科教育課程

					1 学年次		2 学年次	
領域	教育内容	科目名	単位	時間	前期	後期	前期	後期
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の理解	2	30	30			
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	4	60	30	30		
	社会の理解	社会の制度と理解Ⅰ	2	30			30	
		社会の制度と理解Ⅱ	2	30				30
	人間と社会に関する選択科目	スマート介護	2	30			30	
		エンターテインメント	2	30	30			
		介護福祉特論Ⅰ	2	30				30
		エステティックケア	2	30		30		
		介護福祉特論Ⅱ	2	30				30
小計		20	300	90	60	60	90	
介護	介護の基本	介護の基本Ⅰ	1	30	30			
		介護の基本Ⅱ	1	30	30			
		介護の基本Ⅲ	1	30		30		
		介護の基本Ⅳ	1	30		30		
		介護の基本Ⅴ	1	30			30	
		介護の基本Ⅵ	1	30				30
	コミュニケーション技術	手話	1	15	15			
		点字	1	15		15		
		コミュニケーション技術	1	30			30	
	生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	1	30	30			
		生活支援技術Ⅱ	1	30	30			
		生活支援技術Ⅲ	1	30		30		
		生活支援技術Ⅳ	1	30	30			
		生活支援技術Ⅴ	1	30		30		
		生活支援技術Ⅵ	1	30			30	
		生活支援技術Ⅶ	1	30			30	
		生活支援技術Ⅷ	1	30		30		
		生活支援技術Ⅸ	1	30				30
		生活支援技術Ⅹ	1	30			30	
	介護過程	介護過程Ⅰ	1	30	30			
		介護過程Ⅱ	2	60		60		
		介護過程Ⅲ	1	30			30	
		介護過程Ⅳ	1	30				30
	介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	1	30	30			
		介護総合演習Ⅱ	1	30		30		
		介護総合演習Ⅲ	1	30			30	
		介護総合演習Ⅳ	1	30				30
	介護実習	介護実習Ⅰ	2	80	80			
		介護実習Ⅱ	5	200		200		
		介護実習Ⅲ	5	200			200	
	小計		40	1290	305	455	410	120
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解A	1	30		30		
		発達と老化の理解B	1	30		30		
	認知症の理解	認知症の理解A	2	45	45			
		認知症の理解B	1	15				15
	障害の理解	障害の理解A	1	30			30	
		障害の理解B	1	30				30
	こころとからだのしくみ	介護とリハビリテーション	2	45	45			
		こころとからだのしくみA	1	30		30		
こころとからだのしくみB		2	45				45	
小計		12	300	90	90	30	90	
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアの基礎Ⅰ	2	45			45	
		医療的ケアの基礎Ⅱ	1	30			30	
		医療的ケアの基礎Ⅲ	1	15				15
		医療的ケアの実習(見学)	1	15			15	
	小計		5	105	0	0	90	15
総計			77	1995	485	605	590	315

IV-3-2

学科の特徴的な取組と実績

【介護福祉学科】

介護福祉学科では、入学時より自主性・社会性を養いながら、授業や実習を通して介護福祉士としての必要な知識・生活支援技術・徳育を育むカリキュラムとなっている。美容や娯楽、写真や音楽などの基礎を習得できる複合的なカリキュラムも導入することで、将来の選択肢も広がっている。学生は将来をイメージすることで、自らの目標を明確にし、講義内容の理解を深めていくことができる。

教員は福祉・保健・医療を統合した総合ケアの視点を持ち、豊富な現場経験を活かした授業を展開しており、情熱と教養のあるきめ細かな教育・指導を行っている。また法改正による施設の取り組みを現場の職員をまねき講義をしていただいたりして教科書だけでなく現場の“今”に触れる機会をもった。

学習環境について、設備面も大変充実している。介護実習室ではタイプの違うベッドが計8台、簡易浴槽や特殊浴槽、リフト、マッスルスーツがあり、いろいろな状況に合わせた生活支援技術の習得に役立っている。家政科実習室では調理台を8台、電子レンジも7台設置しスムーズな調理実習に適した環境となっている。

2年間を通しての介護実習では、学内の講義や演習で学んだ「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」などの専門的な技術と知識を、実際の介護

現場において実践し、自己の課題に向き合い、新たな学びへと成長していく機会としている。そして、利用者みなさまや現場で働く介護福祉士としての必要な知識・生活支援技術・徳育を育むことを期待している。

介護実習は、状況は緩和されたとはいえ昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス等感染症の影響はあり、実習開始前1週間よりアルバイトの中止、実習開始前2週間より体調管理・行動履歴の記録を実施し、実習に臨んだ。そのような事もあり学生は依然として残る新型コロナ感染リスクがある状況においても実習を受け入れてくださった実習施設の皆様へ、感謝の気持ちで実践的な学びを深めることができた。また介護現場での感染症への必要な知識や、具体的な感染対策を行い、利用者の命を守る姿勢や職業倫理を学ぶこともできた。

介護福祉学科では学生全員が、ボランティアサークル「クローバー」に所属し、障がい者・高齢者施設で行われる行事などに学業に支障のない可能な範囲で対応できるようにしている。

2年次の就職活動については、履歴書の書き方の指導や面接試験対策指導、外部より講師を招き接遇、マナーを指導した。小論文が試験項目にある者に対しては個別指導を行った。結果、就職率は100%、学生全員が希望する介護施設、障害者支援施設へ就職することができた。

第38回介護福祉士国家試験は予定通り、1月25日グランメッセ熊本で実施され、本学院からは20名（日本人19名）受験し15

名合格した。(合格率 75%)

全国の合格率は 70.1%、全国介護福祉士養成施設ルート合格率は 58.8%と本学院の合格率は 75%と全国及び養成施設ルートの合格率を上回った。

国家試験に対しては 9 月より国家試験対策の時間や介護福祉特論 I・II を設け苦手分野の克服のために教員で分担し補講を行い合格率の向上に努めた。合格基準に達しない者を中心に放課後国試対策を行い学習時間を確保した。加えて月 1 回は模擬試験を実施しクラス全体の実力の底上げ、状況把握を行った。模試を重ねるにつれ成績の向上につながった。

IV-3-3 介護福祉学科 第14期生 卒業発表会

日時 令和7年3月4日(水) 14時00分～16時00分

場所 九州中央リハビリテーション学院 1号館5階 講堂

令和7年度 14期生 卒業発表会

発表順	発表者	テーマ
1	高森康平、村田香穂、 塩平千星	高齢者施設における散歩活動がQOL向上に及ぼす効果 ～散歩を楽しむための取り組み～
2	有田光希、山口有希 ラマアリナ	その人を理解するためのアセスメント ～ICFとマズローで読み解く介護困難事例の支援～
3	阿南翔大、富吉葉月 豊田結那	見守り機器は安全？監視？ ～介護ロボットにおいて配慮すべきこと～
4	田代銀平、堀田心葉 前田清香	脳出血による右片麻痺利用者への支援 ～痛みを伴う利用者のQOL向上を目指した介護過程を検討～
5	大久保風渚、田上悠雅 野田ゆかり、山中瞬璃	介護予防について ～アルツハイマー型認知症の予防を知る・始めてみる・広げる～
6	川副稀隆、木村匠、 桑原翔悟、平田心春	酸素療法利用者における介護福祉士の支援について ～鼻カニューレがずれやすく訴えない事例を通して～

IV-4教育活動【国際介護学科】

1.入学時の状況

2025年度の入学試験においては20名の定員に対し、14名が受験、うち13名を合格とした。出身国の内訳については以下の通りである。

ネパール：11名

バングラデシュ：2名

入学者の日本語能力についてはJLPT・N2取得者から無資格の者まで様々であった。

〈入学時の日本語能力〉

N2レベル：2名

N3レベル：5名

N4レベル以下（無資格を含む）：6名

2.年間目標

1年後の介護福祉学科進学を目標に、N2以上の日本語能力と介護の基礎を身につける。

①JLPT・N2に合格する

②介護施設でのアルバイトを通して介護の経験を積み、会話力を向上させる

③日本語のレベルアップを図り、介護福祉学科入学試験に合格する

④奨学金先とのマッチング試験に合格する

3.カリキュラムと教育活動

国際介護学科の一年間は日本語のレベルを上げることに重点を置いたカリキュラムである（日本語3：介護2）。

日本語の科目を細分化しており、『語彙』『読解』『聴解』『文法』など日本語能力の試験内容に対応した授業、『作文』

『日本事情』『ビジネス日本語』『PC基本操作』『方言と福祉』など卒業後も熊本県内をはじめ国内で働くために必要な知識や技術を学ぶ授業を組み込んでいる。

一方、介護分野では『生活支援技術』『こころとからだのしくみ』『コミュニケーション技術』など、基礎的な介護の知識・技術を学んでいる。2025年度はフィールドワークとして、市電で熊本市動植物園および水前寺成趣園へ出かけて行き、パブリックスペースにおけるバリアフリーについて学んだ。

また、留学生が許可されている週28時間（長期休暇においては週40時間）の資格外活動については全員が介護施設でアルバイトを行うことになっている。利用者や職員との日常的な会話を通し、入学時はほとんど喋れなかった学生が、卒業時には比較的小スムーズな会話ができるようになった。実際に介護現場での仕事を経験するため、介護福祉学科進学後の学習に繋がるいい効果が得られている。

5.実績

①入学時13名在籍→全員卒業

②進学先：

介護福祉学科へ進学：11名

結婚：1名

帰国：1名

③卒業時の日本語能力：

JLPT・N2：3名

JLPT・N3：9名

無資格：1名

学科の特徴的な取組と実績

【デジタルソリューション学科】

1 学科目標と企業連携

デジタルソリューション学科は、4月に16名の新入生を迎え、2年生12名と合わせて計28名で令和7年度をスタートしました。

本学科は、プログラマーやエンジニアといったIT技術者の育成にとどまらず、ビジネスの現場でデジタルの知識・技術を実践的に活用し、地域産業の発展に寄与できる「デジタルビジネスパーソン」の育成を目標としています。熊本を支える地域人材として、地場企業への就職を重視した教育を展開しています。

1期生である2年生は、学科目標のとおり全員が地場IT企業等への就職を実現しました。

また、令和7年度の1年次科目「地域経済Ⅰ」では、熊本県内を中心に20社の企業より講話をいただきました。講話やインターンシップを契機に、本学科学生を対象とした早期選考が実施される場合もあり、企業との強固な連携体制を活かして、多くの学生が1年次の段階で進路を具体化し、1年次内定率64.3%という成果につながっています。

2 教育内容の充実に向けた取組

本学科では、実践的教育を通して、即戦力となる技術力と環境適応力を備えた人材育成を目指しています。その教育内容を不断に改善・高度化するため、IT企業との連携を重視しています。

令和7年度からは、教育課程編成委員会に県内地場IT企業2社に参画いただき、9月18日（木）および2月16日（月）の2回、意見交換会を実施しました。会議では、

次年度からの「情報システム学科」カリキュラムへの提言、生成AIの授業活用、早期内定につながる教育施策などについて活発な協議が行われ、教育の質向上に向けた具体的な改善が進んでいます。

3 資格取得実績

本学科では、経済産業省主管の国家試験である「ITパスポート」「情報セキュリティマネジメント」「基本情報技術者」の3資格合格を目標としています。

本年度は、上位資格である応用情報技術者試験に1名が合格し、学修成果の着実な向上が見られました。

令和7年度の実績（該当：1年生15名）	
ITパスポート	5名合格
情報セキュリティマネジメント	1名合格
基本情報技術者 A科目	11名合格
基本情報技術者 B科目	3名合格
応用情報技術者	1名合格

4 熊本版 IPPO から全国版未踏 IT へ

2年生の立山・橋口・尾越の3名は、熊本版未踏的プロジェクト「IPPO」に採択され、リハビリ現場で大きな負担となっている「総合実施計画書」の作成をAIで支援するシステムを開発しました。

現場の“リアルな声”を反映した実用性の高いシステムであり、熊本市北区の総合病院と連携して実用化に向けた試用が進んでいます。

しかし、彼らのゴールはシステムの完成ではなく、「誰もが、どこでも、質の高いリハビリを受けられる社会」の実現です。

卒業後も開発を継続し、IPA（情報処理推進機構）が運営する「未踏 IT 人材発掘・育成事業」への挑戦を通過点として、目標に向かって歩み続けていきます。

（文責 柿下耕一）

V 研究・研修実績	
名前	タイトル、出版社、年など
V-1 執筆・論文	
河野文夫	報告 令和五年度 球磨・人吉地方巡検研修報告 近代熊本41号 pp59-76 2024.3
河野文夫	初代熊本鎮台病院長、蘭方医三浦煥について 熊本近代史研究会5月会報 2024.5
河野文夫	明成皇后暗殺事件と日韓の歴史的背景 熊本近代史研究会11月会報 2025.11
河野文夫	初代熊本鎮台病院長、蘭方医三浦煥について 近代熊本42号 pp45-64 2026.3
福岡進	理学療法士の「失敗の管理」の社会的考察, 熊本大学倫理学研究室紀要：先端倫理研究, Vol.20, pp.23-50
平田匠	平田匠、堀本ゆかり、小野田公「理学療法実技教育への動画教材導入の有効性について」日本リハビリテーション教育学会誌、第8巻 特別号1号：2025年10月
岸本稔	岸本稔（分担執筆）、有馬慶美、加藤研太郎、笹川健吾 編：概説理学療法 第3版 基礎から築く理学療法の知．文尚堂，2026年，pp.75-80．（Class6 物理療法の体験―極超短波・電気刺激・超音波・アイスバック）
井手義智	井手義智（分担執筆）、有馬慶美，加藤研太郎，笹川健吾 編：概説理学療法 第3版 基礎から築く理学療法の知．文尚堂，2026年，pp.80-82．（Class6-2 物理療法の体験―極超短波・電気刺激・超音波・アイスバック）
原田恭兵	(1) Sato Y, Onoue A, Machida K, Kyohei H et al. Seventeen-year cumulative incidence of airflow limitation and lung function decline in two independent cohorts: The Japanese Red Cross Kumamoto study. Respir Investig. 2025 Sep;63(5):844-852.
V-2 学会発表	
大塚 開成	(1)大塚開成、河口万紀子、本田直、赤石めぐみ、山崎孝文「国家試験対策として過去の国家試験を用いた学内模試を実施することの有用性」第38回教育研究大会・教員研修会 2025.10.18～10.19 (2)大塚開成、小手川耕平、山野克明、寺本渉「健康成人における箸の使用を意図した際のイメージの鮮明度と視線の関係」第59回日本作業療法学会 2025.11.7～11.9 (3)宮川達好、大塚開成、中山彰子、島添雅宏、佐久間克彦「骨盤骨折患者の復職支援―看護助手としておむつ交換動作獲得を目指したアプローチ」第59回日本作業療法学会 2025.11.7～11.9
井手義智	井手義智、西村絢子、本田洋一、興梠ひで「運動発達に遅れを認めたブラダー・ウィリ症候群児への理学療法経験-片手歩行獲得までの経過報告-」第12回日本小児理学療法学会学術大会in愛知2025年12月20～21日
V-3 講演など	
V-4 学会座長など	
飯星 雅朗	九州理学療法士学術大会2025 in 大分 202511.29-30
瀧下 明日香	第27回熊本県理学療法士学会 口述発表 座長、2025.11.9
V-5 その他（講義・査読など）	
福岡 進	トレーナー）熊本工業高校野球部 2018.3.15～ トレーナー）熊本工業高校野球部 2026.3.13～2026.3.25 甲子園帯同 研修会スタッフ）熊本県理学療法士協会 倫理委員会 研修会 2025.10.19 講義）熊本県立第二高校SSH事業 STEAMプログラム 美術解剖学講座 2026.2.13 査読）第14回日本理学療法教育学会学術大会 2026.2.3
飯星 雅朗	査読）九州理学療法士学術大会2025 in 大分 202511.29-30 査読）第27回熊本県理学療法士学会 2025.11.9
田島 徹朗	査読）九州理学療法士学術大会2025 in 大分 査読）第27回 熊本県理学療法士学会 査読）熊本県理学療法士協会学術誌「熊本県理学療法アドバンス」
山崎 孝文	査読）九州作業療法学会2026 in 沖縄
大塚 開成	講義）①現職者共通研修「作業療法の可能性」（web） 2025.6.4 ②第1回厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会「臨床実習における管理・運営」（web） 2025.7.12 査読）九州作業療法学会2026in沖縄 第21回熊本作業療法学会
亀尾香珠代	査読）九州作業療法学会2026 in 沖縄 査読）第21回熊本作業療法学会
赤石めぐみ	支援事業）熊本刑務所（熊本県作業療法士会派遣事業）2022.10～ 運営）第21回熊本作業療法学会 運営スタッフ支援
原田 恭兵	講義）千原台高校 健康スポーツコース 「スポーツ科学と健康」 2025.7.25, 2025.10.21 講師）熊本学園大学付属高校 「スポーツ外傷・障害とその予防」 2025.6.5 トレーナー）慶誠高校女子サッカー部 トレーナー 2025.5.1～ ソーシャルフットボール九州沖縄大会 2025.5.31 熊本 Run for Sweets in カントリーパーク 2025.11.30 in 熊本
河口万紀子	査読）九州作業療法学会2026 in 沖縄
岸本 稔	講師）熊本県臨床実習指導者講習会 2025.9.6-7 査読）九州理学療法士学術大会2025 in 大分 202511.29-30 運営・講師）Redcord Basicコース開催 2025.2.1-2 当学院にて 講師・運営）日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会ブラッシュアップ研修臨床実習指導者講習会

野島謙一郎	講師)九州看護福祉大学社会福祉学部「介護の基本Ⅳ」、「介護の基本Ⅵ」非常勤講師
	講師)JICA 令和7年度外国人介護人材能力向上・受入支援プログラム
	講師)令和7年度熊本県介護福祉士会技能実習生等集合研修
	講義)熊本県介護福祉士実習指導者研修
	講義)日本介護福祉士会「介護職種の技能実習指導員養成研修」
	運営)令和7年度 熊本県福祉人材センター福祉就職セミナー (介護福祉士相談ブース) 2025.6.30
	講師)令和7年度 外国人介護人材のための資格取得支援講座 講師 2025.7～2025.12
	講師)熊本県介護福祉士会ファーストステップ研修講師 2025.7.18
	講師)日本介護福祉士会 令和7年度介護職種の技能実習指導員養成研修 講師 2025.10.19
	講師)令和7年度有明地域看護職員研修会「医療機関における外国人技能実習生等の受入れに関する取り組み報告会」 2025.10.30
瀧下明日香	講師)生産性向上・人材確保の取り組みに関する事業向け研修 天草市 2025.12.9
	講義)熊本介護事業 経験交流会 「介護分野における雇用管理改善」 2026.2.19
	運営)日本介護福祉士養成施設協会 令和8年度 学力評価試験問題作成委員
	査読)学術大会：九州理学療法士学術大会2025 in大分
瀧下明日香	研修会アシスタント・運営)脳血管疾患後遺症者への治療的介入 2026.1.24-25
	研修会講師・アシスタント・運営)熊本ボバース研究会定期勉強会 2025.7月.9月.11月
	研修会スタッフ)熊本県理学療法士協会専門領域部中枢神経班『脳卒中者における装具療法のシンポジウム』 2026.2.7 第2回熊本県中枢神経分野に関する意見交換会 熊本県理学療法士協会専門領域部中枢神経班 2025.8.30
本田直	査読)第21回熊本作業療法学会
	査読)九州作業療法学会2026 in 沖縄
柿下 耕一	講義)熊本大学教育学部 前期非常勤講師「工業科教育法Ⅰ」
	講義)熊本市立必由館高等学校 2年 総合的な探究の時間「AIを使ったプレゼン資料作成」
	講義)阿曾中央高等学校 1年 総合的な探究の時間「データサイエンス入門」「シミュレーション」「AIを使ったマスコット制作」
林田 拓哉	研修会スタッフ)熊本県理学療法士協会第105回学術研修会 2025年6月29日
	熊本県理学療法士協会第107回学術研修会 2025年11月1日、2日
	熊本県理学療法士協会第108回学術研修会 2026年2月15日
	査読)第12回日本予防理学療法学術大会
泉 夏希	講義)国府高校 職業紹介並びに体験講演会 2025年7月16日
	東部中学校 職業紹介並びに体験講演会 2026年2月26日
	研修会アシスタント・運営スタッフ)脳血管疾患後遺症者への治療的介入 2026.1.24-25
岩下 祥平	研修会講師・アシスタント・運営)熊本ボバース研究会定期勉強会 2025.7月.9月.11月
	講師)運動器認定理学療法士 臨床認定カリキュラム講習会 「末梢神経障害の理学療法」 2025年8月3日
平田 匠	トレーナー)火の国サランターズ 2025年4月～
	トレーナー)ソーシャルフットボール九州沖縄大会 2025.5.31 熊本
芳野大介	講師)熊本県介護福祉士会研修 介護技術講習会研修 2026.02.01 、23
小川一成	講師)熊本県介護福祉士会ファーストステップ研修講師 2024.6.19
	講師)熊本県介護福祉士実習指導者研修 講師 2024.08.18
	講師)日本介護福祉士会 介護職種の技能実習指導員養成研修 講師 2024.10.27
	講師 熊本県介護福祉士会研修 介護技術講習会研修 2026.02.01 、23
V-6 研修会参加	
山崎 孝文	①令和7年度 作業療法士学校養成施設連絡会研修 (日本作業療法士協会主催) 2025.11.18及び2026.2.17 オンライン参加
瀧下 明日香	①感覚障害への介入方法～捉え方とアプローチ～大阪府理学療法士会 (web開催) 2025.9.30
	②第10回小児理学療法講習会 熊本県理学療法士協会 専門領域部小児班 2025.7.13
	③体幹と姿勢制御 リーチ動作に必要な上肢機能の土台づくりを実技とともに学ぶ 熊本ボバース定期勉強会 2025.7.16
	④第38回和歌山県理学療法学術大会 和歌山県理学療法士協会 (web開催) 2025.7.27
	⑤第2回熊本県中枢神経分野に関する意見交換会 熊本県理学療法士協会専門領域部中枢神経班 2025.8.30
	⑥臨床実習指導者講習会 熊本県理学療法士協会 2025.9.6-7
	⑦肩甲骨と肩関節の動きを変えて、リーチ動作や姿勢を改善させよう 熊本ボバース定期勉強会 2025.9.17
	⑧日本ボバース講習会「Functional Waiking」上級者講習会 2025.11.1-5
	⑨手を整えて、全身につながるリーチ動作を獲得しよう 熊本ボバース定期勉強会 2025.11.19
	⑩第27回熊本県理学療法士学会 熊本県理学療法士協会 2025.11.9
	⑪脳血管疾患後遺症者への治療的介入 熊本ボバース研究会 2026.1.24-25
	⑫熊本県理学療法士協会専門領域部中枢神経班『脳卒中者における装具療法のシンポジウム』 2026.2.7
	⑬ボバース概念とエビデンス-理論・研究・臨床実践の再考- 日本ボバース研究会 (web開催) 2026.3.8
田島 徹朗	①2025年度 リハビリテーション教育評価機構 評価員研修会2025.5.10
	②公益社団法人熊本県理学療法士協会 組織運営協議会2025.6.3
	③第22回島根県理学療法士学会2025.6.14-25
	④馬場せいし国政報告会2025.6.25
	⑤令和7年度 全国リハビリテーション学校協会 九州・沖縄ブロック会議 第1回研修会2025.7.27
	⑥2025年度 臨床実習指導者講習会ブラッシュアップ研修会2026.8.26
	⑦第27回熊本県理学療法士学会 熊本県理学療法士協会2025.11.9
	⑧第16回熊本県医療人育成総合会議 講演会2025.12.7
	⑨第2回 全国リハ協会 九州・沖縄ブロック研修会2026.1.24
	⑩第19回全国大学理学療法学会教育学会学術大会とのジョイントセッション2026.3.20
飯星 雅朗	①令和7年度 熊本県・熊本市連携発達障がいに関する講演会 2025.4.30
	②熊本県臨床実習指導者講習会 2026.9.6～7
	③第27回熊本県理学療法士学会 口述発表 座長、2025.11.9
	④第16回 医療人育成総合会議 講演会 2026.12.7
	⑤2025年度 第2回 全国リハビリテーション学校協会 九州・沖縄ブロック 研修会 2026.1.24
	⑥第2回九州・沖縄ブロック研修会 2026.2.13
	⑦2025年度 全国リハビリテーション学校協会 教員研修会 2026.3.24
井手 義智	①肥後医育会議 2025年10月29日
	②第12回日本小児理学療法学会学術大会in愛知 2025年12月20～21日
	③2025年度日本小児理学療法学会カンファレンス 定型発達児の身体機能の現状と課題(web) 2026年2月10日
渡久山 竜彦	①北区PTA研修会「不登校は子供のサイン」 2025.12.6
	②第27回熊本県理学療法士学会 2025.11.9
	③熊本県理学療法士協会 令和7年度 職業倫理研修会 2025.10.19
	④第41回東海北陸理学療法学術大会(Web) 2025.10.20
	⑤第41回東海北陸理学療法学術大会(Web) 2025.11.14

平田 匠	①熊本県医療人育成総合会議 講演会2025.12.7 ②日本理学療法士協会主催 症例検討会（web） 2026.2.5 ③神戸西支部 症例検討会（web） 2026.3.5 ④日本理学療法士教員協議会2026.3.21
原田 恭兵	①NASM（全米スポーツ医学協会）2025.5.24（Web） ②健康経営の最前線 2025.07.02（Web） ③予防領域（産業保健・健康経営）におけるセラピストのキャリア戦略と具体的事例 2025.9.5（Web） ④日本産業衛生学会職業性呼吸器疾患研究会 第6回独自集会 2025.12.13 ⑤スボラボ「脳震盪、評価、治療、競技復帰プロセス」2025.1.16-17（Web） ⑥熊本パラスポーツ指導者協議会創立30周年記念式典・特別講演 2026.1.24 ⑦ポッチャ審判員養成講習会※熊本ポッチャ協会公認 2026.2.7
岩下 祥平	①第54回長野県理学療法学会学術大会（Web）2025.6.21-22 ②日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会 2025.9.6-7 ③日本理学療法士協会 認定理学療法士更新時研修 運動器（eラーニング）
大塚開成	①作業療法士による書字動作の獲得に向けた準備（web開催）2025.8.8 ②第38回教育研究大会・教員研修会.2025.10月18日～19日. ③第59回日本作業療法学会 2025.11.7～11.9 ④第21回熊本作業療法学会 2024.2.1（天草市民センター）
赤石めぐみ	①第16回熊本県医療人育成総合会議 2025.12.07（熊本大学医学部） ②第21回熊本作業療法学会 2026.2.01（天草市民センター）
本田直	九州作業療法学会2025 in 宮崎 2025.6.21～22（シーガイアコンベンションセンター） 第16回熊本県医療人育成総合会議 2025.12.07（熊本大学医学部 医学総合研究棟3階 講習室） 第21回熊本作業療法学会 2026.2.01（天草市民センター）
川窪昭子	令和7年度 介護福祉士養成施設協会主催 全国教員研修会 In 京都 2025.10.31～11.1 令和7年度 老人福祉施設研究発表会（ホテル熊本テルサ） 2025.11.18 排泄/褥瘡セミナー 2025.10.4（鹿児島県民交流センター） 摂食嚥下障害対策研修会 2025.10.3（鹿児島県民交流センター）
岸本稔	①Redcord アドバンスコース 2025.4.19-20 ②Redcord CNPコース 2025.6.2-5 ③九州理学療法士サミット 2025.7.12 ④第27回熊本県理学療法士学会 2025.11.9 ⑤九州理学療法士合同学会 2025.11.29-30
野島謙一郎	日本死の臨床研究会九州支部 2024年度第1回支部大会 2025.6.23 日本死の臨床研究会九州支部 第13回介護職のための看取りワークショップ2025.8.2 熊本県「介護の日」 2024.11.10
福岡進	・公益社団法人日本理学療法士協会 成長を促す人事考課！人材育成のためのアプローチ 2025.9.18 ・公益社団法人日本理学療法士協会 医療現場におけるハラスメント対策について 2025.9.18 ・公益社団法人日本理学療法士協会 「理学療法の質」を考える！—組織の質改善ポイント— 2025.9.18 ・第8回日本理学療法管理学会学術大会 2025.12.21 ・公益社団法人日本理学療法士協会 立ち止まる倫理のススメ 2025.9.18 ・公益社団法人日本理学療法士協会 関節可動域制限の病態と理学療法 2025.9.18 ・第34回福岡県理学療法士学会 2025.8.22 ・公益社団法人日本理学療法士協会 ストレスと上手につきあうストレスマネジメントについて 2025.9.18 ・第37回大阪府理学療法士学術大会 2025.8.6 ・臨床教育管理とその実践 2025.9.13
河口万紀子	サイコロジカルファーストエイド研修会（PFA）心理的応急処置 2025.12.8 県庁 熊本県作業療法士会研修会（地域移行支援とピアサポートの声）
柿下 耕一	第375回RISTフォーラム ～AI実装を地域の力に～ 生成A I がもたらす新時代 ～今こそ知るべき活用ノウハウ～ 第2回RIST「AIシーズ＆ニーズ共創技術検討会」 くまもとサイバーセキュリティシンポジウム2025 令和8年新春の集い DIS ICT EXPO 2026 in 熊本 くまもとサイバーセキュリティセミナー2026
三岳 証智	第375回RISTフォーラム ～AI実装を地域の力に～ 生成A I がもたらす新時代 ～今こそ知るべき活用ノウハウ～ 第2回RIST「AIシーズ＆ニーズ共創技術検討会」 くまもとサイバーセキュリティシンポジウム2025 令和8年新春の集い DIS ICT EXPO 2026 in 熊本 くまもとサイバーセキュリティセミナー2026
川崎 祐太	生成A I がもたらす新時代 ～今こそ知るべき活用ノウハウ～ くまもとサイバーセキュリティシンポジウム2025 DIS ICT EXPO 2026 in 熊本
林田 拓哉	①職場における腰痛予防宣言キックオフカンファレンス 2025.08.05 ②日本運動器理学療法学会臨床研究推進セミナー実践編第2回 2025.10.15 ③全国リハビリテーション学校協会 第38回教育研究大会・教員研修会 2025.10.18～10.19 ④第12回予防理学療法学会学術大会 2025.11.08～11.09 ⑤第181回熊本リハビリテーション研究会 2026.01.17 ⑥2025年度第2回全国リハビリテーション学校協会研修会 2026.01.24 ⑦第4回国際セミナー 2026.02.04
泉夏希	肩甲骨と肩関節の動きを変えて、リーチ動作や姿勢を改善させよう 熊本ボバース定期勉強会 2025.9.17 手を整えて、全身につながるリーチ動作を獲得しよう 熊本ボバース定期勉強会 2025.11.19 脳血管疾患後遺症者への治療的介入 熊本ボバース研究会 2026.1.24-25
芳野大介	日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック教員研修会
亀尾香珠代	2025年度 第2回 九州ハンドセラピー研修会 2025.11.1
小川一成	①令和7年度 熊本県老人福祉施設研究大会 2025.11.18 ②接触嚥下障害の理解とその対応～食べる楽しみをずっと～ 2025.10.3
V-7 社会活動実績	
	公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 監事
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 臨床実習指導者養成講習会 委員会委員

田島 徹朗	熊本県理学療法ADVANCE 査読員
	熊本県理学療法士学会 査読員
	九州理学療法士学会 査読員
	全国理学療法士連盟 代議員
	熊本県理学療法士連盟 副会長
	熊本市介護認定審査員
	一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 評価員
	熊本市住宅改造居宅介護支援員
飯星 雅朗	熊本市介護給付等の支給に関する審査会 委員
	熊本市住宅改造居宅介護支援員
渡久山竜彦	熊本県理学療法士連盟 会計監査
	公益社団法人熊本県理学療法士協会 学術局教育部臨床実習教育班 班員
	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会 熊専各体育運営委員会 バスケットボール競技副委員長
	熊本市立楠中学校PTA会長
	熊本市立楠中学校部活動振興会会長
瀧下 明日香	日本ボパース研究会 九州ブロック 熊本県 世話人
	日本ボパース研究会 九州ブロック 南エリアマネージャー
	公益社団法人熊本県理学療法士協会 専門領域部中枢班 班員
	日本神経系理学療法学会の地方ブロック部員
福岡進	公益社団法人熊本県理学療法士協会 倫理委員会 委員長 2024.4～
井手 義智	公益社団法人熊本県理学療法士協会 専門領域部小児班 班員
平田 匠	熊本リハビリテーション研究会 世話人
泉 夏希	日本ボパース研究会 九州ブロック 熊本県 会員
河口万紀子	一般社団法人熊本県作業療法士会 財務部 部長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	熊本県作業療法士会精神科分科会研修会運営メンバー
山崎 孝文	熊本市介護認定審査会委員
	一般社団法人日本作業療法士協会 代議員
	一般社団法人 熊本県作業療法士会 監事
	一般社団法人 日本作業療法士協会 福祉用具相談支援システム 相談担当アドバイザー
	一般社団法人 熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
亀尾香珠代	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
本田 直	一般社団法人日本作業療法士協会 代議員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 専務理事（総務部担当理事兼務）
	一般社団法人熊本県作業療法士会 事務局長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	一般社団法人熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
赤石 めぐみ	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術部員・学会企画運営委員会
	一般社団法人熊本県作業療法士会 財務部部員
	一般社団法人熊本県作業療法士会 事業部 刑務所支援チーム部員
大塚 開成	一般社団法人熊本県作業療法士会 総務部部長
	一般社団法人熊本県作業療法士会 学術支援アドバイザー
	一般社団法人熊本県作業療法士会 中長期計画策定チーム
	熊本市自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣モデル事業協力員
	一般社団法人日本作業療法士協会 認定作業療法士
	一般社団法人熊本県作業療法士会 くまもとエキスパートOT
福山 貴美子	熊本県看護教育機関協議会 教育委員
野島 謙一郎	一般社団法人熊本県介護福祉士会 副会長
	一般社団法人熊本県介護福祉士会 研究委員長
	熊本県福祉人材・研修センター運営委員会 委員
	日本死の臨床研究会九州支部 支部役員及び啓発教育委員
	学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院理事
河野文夫	国立病院機構熊本医療センター名誉院長
	国立病院機構熊本医療センター看護師特定行為管理委員会 委員
	国立病院機構熊本医療センター附属看護学校評価委員会 委員
	国立病院機構熊本医療センターOB会 二の丸会 会長
	熊本県内科医会副会長
	日本臨床内科医会代議員
	熊本大学医学部第二内科OB会仁杏会理事
	日本血液学会功労会員
	日本造血細胞移植学会功労会員
	日本内科学会総合内科専門医
	日本血液学会専門医
	日本臨床内科医会認定医
	日本臨床内科医会専門医
	産業医
	熊本近代史研究会会員 会誌編集委員
	熊本観光文化検定1級
	熊本県護国神社崇敬会理事
	熊本県医療人育成会議委員会実行委員
	熊本県日中友好協会会員
	熊本県文化懇話会会員

	西部方面総監部後援会会員
	熊本県日韓親善協会会員
河野文夫	総合文化誌「KUMAMOTO」刊行会 編集委員
岩下 祥平	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会 熊専各体育運営委員会 ソフトテニス競技委員長
	志学会（同窓会）副会長
川窪昭子	熊本市介護人材確保に関する会議 委員
	令和7年度 介護の日インくまもと 実行委員会 副会長
	介護福祉士養成施設協会 熊本県代表校 運営委員
岸本 稔	公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員
	公益社団法人 日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会質向上検討部会 委員
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 副会長
	公益社団法人 熊本県理学療法士協会 組織整備委員会 委員
	熊本県理学療法士連盟 副会長
	熊本県菊池広域連合 介護認定審査員
	熊本市中央区 介護認定審査員
	社会福祉法人 友朋会 評議員
柿下 耕一	大分大学理工学部同窓会 熊本支部長
林田 拓哉	公益社団法人熊本県理学療法士協会 学術部学術研修班 副班長
芳野大介	令和7年度 介護の日作業部会
原田恭兵	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会 熊専各体育運営委員会 フットサル競技 副委員長
	日本パラスポーツ公認 中級パラスポーツ指導員
	熊本パラスポーツ指導者協議会 トレーナー部会 部員
	熊本ポッチャ協会 部員および審判員
	慶誠高校女子サッカー部 トレーナー
小川一成	令和7年度 介護の日作業部会

VI-2

高齢者の関連施設との交流について

作業療学科では、高齢者との関わりの機会として学院の関連施設であるグループホームと小規模多機能施設へ、学生派遣を行い交流を行った。

交流会では、学生自身が考えた、「作業療法としての意味付けを考慮した作業活動」と「個別作業療法プログラム立案作成」を、利用者と職員への情報収集面談を通して立案する課題に取り組んだ。

この交流会は、臨床実習前の実践的トレーニングとして位置づけ、2,3年生を対象に以下の通り実施した。2年生は、認知症高齢者グループホーム潤で集団活動プログラムを、3年生は、小規模多機能施設かがやきで、集団活動プログラムと個別の作業療法プログラム立案を行った。

また、高齢者施設で実施した活動の、作業療法治療的意味付けの考察を行い、2・3年生合同での活動報告会も実施した。主な実施内容は以下である。

1) グループホーム潤交流会

(対象学年) 2年生 20名

(目的)

- 1) 認知高齢者を理解し適切なコミュニケーションが取れる。
- 2) 認知症を対象にした集団活動の企画実施ができる。
- 3) 交流会実施時のリスク管理に配慮できる
- 4) 実施した活動の治療的意味付けができる

(実施方法)

学習班5名企画運営を分担して行う。

(実施日) 訪問時間：9時～11時30分

実施時間：50分程度

10月17日 24日 31日

11月7日 14日 計5回訪問

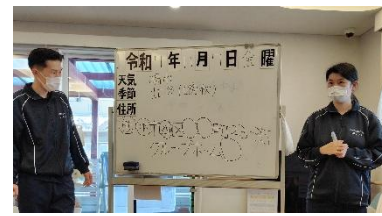
(内容) ①自己紹介、②RO法、③高齢者向け体操
④脳トレーニング ⑤高齢者に適したゲーム
⑥クールダウン



《自己紹介の場面》



《脳トレの様子》



《RO法の様子》



《体操の様子》



《ゲームの様子》

2) 小規模多機能型施設かがやき

(対象学年) 3年生 24名

(目的)

- ① 利用者の状態に配慮した作業活動の実施
- ② 対象者の作業療法プログラム立案

(実施方法)

- ① バイタル測定（血圧・脈拍）
- ② 施設利用者に対して集団での体操と作業活動を行う。言葉遣いや立ち位置、作業内容に配慮。
- ③ 同意を得た対象者とスタッフに情報収集を行い、個別作業療法プログラムを立案する。

(内容)

- ① 体操・脳トレーニング、ペーパークラフトなどの創作活動やレクリエーション
- ② 同意を得た対象者との会話・スタッフへの情報収

集、TUG や MMSE などの検査測定

(実施時間と日) 時間：10 時～11 時

10 月 17 日、24 日、31 日

11 月 7 日、14 日 計 5 回訪問

・意思疎通が可能な対象者とはいえ、ダイヤモンドに関するヒアリングは思った以上に難しかった様である。また対象者・スタッフに情報収集を行ったが、作業療法の個別目標を立ててみると、足りない情報が多岐にわたり、必要な情報は対象者によって様々違うことが理解できたようである。

・今回初めて利用者様への検査測定を実施したが、リスク面での配慮が不足していた。施設スタッフに意見をいただきながら改善していく。

3) 報告会の実施

(実施日) 2026 年 1 月 9 日 (金) 9 時から 12 時

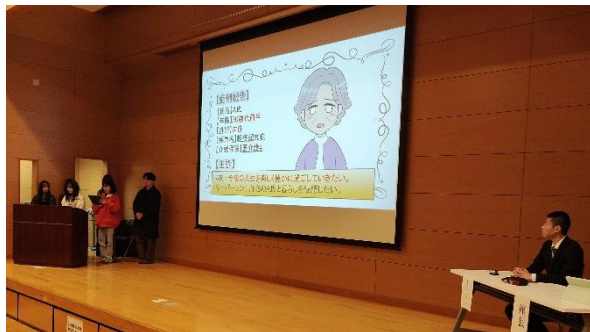
(会場) 講堂

(対象学生) 2～3 年生

(内容) 5 階講堂にて、2 年生は活動報告、3 年生は MTDL P を用いた作業療法プログラム立案報告を学習毎におこなった。

2 年生報告 7 分間報告 質疑応答 2 分

3 年生報告 7 分間報告 質疑応答 7 分



《交流会報告会の様子》

(まとめ)

高齢者や認知症の方と、直接交流することで、声掛けの仕方、車椅子の移動介助、参加者の見守りなど、臨床実習前のトレーニングになっていた。

また、対象者との交流の経験は、対象者の方々が、笑顔になり、意欲的に取り組みむなどの反応が得られて、学生の今後の学習意欲に繋がったように思われる。

また、2～3 年生合同での報告会実施では、積極的な質疑応答もあり、学年間の情報共有の機会になっていた。

広報活動

開催日	会場名	着座数	テーマ	参加教員
4月18日	熊本城ホール	8	進学ガイダンス	原田・柿下
5月20日	熊本国府高校	22	進学ガイダンス	林田・森川
6月5日	益城町総合体育館	22	進学ガイダンス	未定
6月27日	慶誠高校	16	進学ガイダンス	未定
6月21日	熊本中央高校	9	進学ガイダンス	本田・大塚
7月9日	八代東高校	名簿取得不可	進学ガイダンス	柿下
7月22日	熊本テルサ	80	進学ガイダンス	岩下・赤石・島田
7月22日	グランメッセ熊本	45	進学ガイダンス	原田・大塚・小川 川口・柿下・徳本
10月23日	熊本城ホール	40	進学ガイダンス	飯星・川崎・横山
12月10日	グランメッセ熊本	146	進学ガイダンス	全学科
12月11日	くまもと中央高等学院	3	進学ガイダンス	柿下
2月24日	千原台高校	18	進学ガイダンス	原田 柿下
2月24日	鎮西高校	14	進学ガイダンス	森川 小川
3月5日	国府高校	11	進学ガイダンス	林田 島田
3月9日	鎮西高校	19	進学ガイダンス	林田・森川
3月16日	熊本農業高校	40	進学ガイダンス	飯星 岩下
3月17日	開新高校	14	進学ガイダンス	林田

R7学生募集活動

①入学試験

	受験者	合格者		入学者
			内第2希望	
作業療法学科	21	21		20
理学療法学科	51	50		48
理学療法学科夜間部	9	9		9
看護学科	49	49		40
介護福祉学科	40	38		36
デジタルソリューション学科	11	11		11
計	181	178		164

入学試験出願者(学校別)

熊本西高等学校	10
熊本国府高等学校	9
文徳高等学校	8
湧心館高等学校	7
水俣高等学校	6
東稜高等学校	6
八代白百合学園高等学校	5
東海大学付属熊本星翔高等学校	5
城北高等学校	5
尚綱高等学校	5
熊本市立千原台高等学校	5
翔陽高等学校	4
宇土高等学校	4
八代清流高等学校	3
天草拓心高等学校 本渡校舎	3
秀岳館高等学校	3
慶誠高等学校	3
熊本商業高等学校	3
熊本市立必由館高等学校	3
八代東高等学校	2
天草工業高等学校	2
人吉高等学校	2
菊池女子高等学校	2
鎮西高等学校	2
くまもと清陵高等学校	2
第一学院高等学校 熊本校	2
八代工業高等学校	1
天草高等学校	1
大津高等学校	1
岱志高等学校	1
松橋高等学校	1
小川工業高等学校	1
玉名女子高等学校	1
牛深高等学校	1
熊本北高等学校	1
熊本農業高等学校	1
熊本工業高等学校	1
熊本学園大学付属高等学校	1
九州学院高等学校	1
ルーテル学院高等学校	1
菊池高等学校	1
開新高等学校	1
芦北高等学校	1
阿蘇中央高等学校 阿蘇校舎	1
鏡わかあゆ高等支援学校	1

勇志国際高等学校	1
未来高等学校	1
クラーク記念国際高等学校	1
おおぞら高等学校	1

【県外】

山口県立華陵高等学校	1
大牟田高等学校	1
大分県立別府翔青高等学校	1
宮崎県立福島高等学校	1
宮崎県立都城西高等学校	1
鹿屋市立鹿屋女子高等学校	1

新卒計	140
-----	-----

VI-5 オープンキャンパス

1.開催日時

- 第1回 6月7日(土)9:30 スタート
第2回 7月4日(金) 19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
第3回 7月12日(土)9:30 スタート
第4回 7月26日(土)9:30 スタート
第5回 8月9日(土)9:30 スタート
第6回 8月23日(土)9:30 スタート
第7回 10月28日(火)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
第8回 11月8日(土)9:30 スタート
第9回 11月17日(月)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
第10回 12月3日(水)19:00 スタート→ナイトオープンキャンパス
第11回 3月21日(土)9:30 スタート

2.告知

- ①学院パンフレット、告知ポスターを県内及び県外の高校(県境近郊)に配布
②進路ガイダンス等での呼びかけとポスター告知
③学院ホームページ、SNS、進学専門誌に掲載

3.参加状況

オープンキャンパスは11回開催し参加者数名(474名)前年比98%だった。(昨年485名)

2024	OT	PT	PTN	Ns	CW	DS	IC	合計
	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
第1回 6/7(土)	14	25	1	32	5	3	20	100
第2回 7/4(金)	0	0	3	0	0	0	0	3
第3回 7/12(土)	15	14	3	24	2	4	17	79
第4回 7/26(土)	15	43	1	20	8	3	8	98
第5回 8/9(土)	17	28	0	17	3	3	3	71
第6回 8/23(土)	10	19	2	22	5	0	0	58
第7回 10/28(火)	0	0	0	0	0	0	0	0
第8回 11/8(土)	0	11	2	4	3	3	1	24
第9回 11/17(月)	0	0	0	0	0	0	0	0
第10回 12/3(水)	0	0	0	0	0	0	0	0
第11回 3/21(土)	13	13	0	9	6	0	0	41
合計	84	153	12	128	32	16	49	474

4.内容

通常開催(来校型)7、ナイトオープンキャンパス4実施した。



VI 社会活動・地域活動

VI-8 入学前教育プログラムについて

入学前に学生間や教職員との交流の機会をつくり学生生活が円滑なスタートとなる様に、今年度も3回の入学前セミナーを開催した。

また、医学の基礎となる人体の動き、骨、筋肉、神経などを大まかに学ぶテキスト「プレリハ」を用いて、入学が決まった新入生から順次、購入をすすめ、自宅学習の取り組みも進めていった。

今年度の入学前セミナーも、第1回、第3回目は学生間の交流を深める目的で学科別に開催し、第2回セミナーは、入学後の講義のイメージを持ってもらう為、3学科合同で講義を受講する形式で開催した。以下、開催日と実施した内容を記載する。

【開催日および会場】

第1回 12月13日(土曜日) 9時～11時30分
理学療法学科(昼・夜) 3.4番教室
作業療法学科 1番教室

第2回 3月3日(火曜日) 13時～16時
3学科合同 講堂

第3回 3月24日(火曜日) 13時～16時
理学療法学科(昼・夜) 3.4番教室
作業療法学科 1番教室

【内容】

◆第1回セミナー◆

(内容) プレリハ確認テスト①(骨・筋肉)
事務からの連絡
学科別の交流会
セミナーアンケート

《 作業療法学科の交流会内容 》

1) 傾聴スキルを用いた自己紹介

傾聴スキルを用いた自己紹介を行い、緊張を和らげ交流を深めるきっかけとした。

(方法)

①傾聴スキルの教授

②4人班になり、サイコロの目に応じたお題があり、出た目のお題を班員に一人ずつ話をする。

③他の班員は「うなずき・相槌・繰り返し」の傾聴スキルを用いて話を聞く

④4人順番にサイコロでお題を決めて話をしていく

(まとめ)

傾聴してもらうことで安心感があつたようで、笑顔などが観られた。

2) 三択クイズ大会(作業療法に関するクイズ)

(方法)

各教員から作業療法に関する問題を三択形式で出題する。班で協力して、スマホ検索で正解を探して

解答してもらった。問題は11問で1問正解10点とした。作業療法に関する専門用語や自助具について出題した。一番、成績の良い班には表彰と景品が授与された。

(まとめ)

班員で協力して答えを探す作業は、連帯感を感じて大いに盛り上がった。はじめて見る自助具や道具に興味津々で検索して調べる姿がみられ意欲的な様子が見られた。

優勝した班員は、思いがけないプレゼントに大変嬉しそうな表情で喜んでた。



作業療法学科
第1回セミナーの様子
(参加人数) 18名

《理学療法学科(昼・夜間)の交流会》

1) 自己紹介

班毎に自己紹介シートを用いた自己紹介をおこなった。各自緊張していたが、入学後のクラスメイトとして交流を図ることで、徐々に会話が弾んでいた。(5～6名を1班とし、8班編成する。)

2) 人体に関する骨模型の組み立て

プレリハの確認テストに準じた、骨模型の組み立てを実施した。組み立て作業の導入編として、「模型」と「晒骨(人骨)」の違いを目視にて確認し、色や形などを見てもらう。

導入後は、頭部～上肢(頭部、脊柱、肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、手部)、下肢(寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨、足部)の順に机上で組み立てを行った。各班員が協力し、同一課題に取り組むことで、事前学習の理解に加え、各生徒間の交流、課題に対して主体的に取り組むことが出来た。セミナー後のアンケート結果より、参加者同士の交流を希望する学生も多く、新年度からの交友関係構築に不安を感じているようであった。



理学療法学科 第1回セミナーの様子
(参加人数) PT39名 PTN6名 OT19名 総数64名

◆第2回セミナー

(日時) 3月3日(火曜日) 13時～15時45分

(場所) 講堂

(内容) 事務連絡 (事務: 古市)

学院長ご挨拶 (河野学院長)

講義①運動機能学について

(講師: 理学療法学科教員 岩下 祥平)

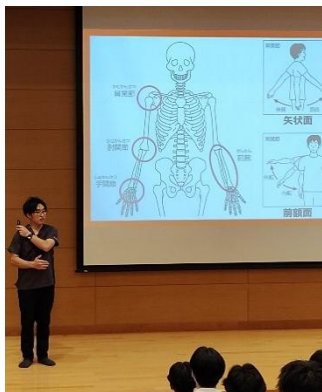
講義②脳機能について

(講師: 作業療法学科教員 河口 万紀子)

《講義①運動機能学について》

講師: 理学療法学科教員 岩下 祥平

プレリハテキスト解説講義を行った。範囲として、第1章・第2章の一部についてスライドと実技を交えて実施した。目的として、医学用語について触れること、理学療法士・作業療法士に必要な「面や軸」について知ることに加え、今回学習した内容と今後の講義を想定した導入編として行った。また、参加者の理解することの難しさを感じてもらいつつ、入学後のイメージを持ってもらうことにも注力した。更に、関節の運動方向や実際のストレッチについては、担当教員の体を用いて多方向からのイメージ構築を図った。



〈講義①の様子〉

《講義②について》

講師: 作業療法学科教員 河口万紀子

脳の解剖学的構造とその役割について、脳神経の暗記の仕方、基本的な内容の講義が行われた。

講義資料に説明した内容を板書する機会をもち入学後の受講のイメージを持ってもらった。



〈講義②の様子〉

◆第3回セミナー

(日時) 3月24日(火曜日) 13時～15時30分

(場所) OT学科 1番教室 PT学科 3.4番教室

(内容) プレリハ確認テスト②、事務連絡

学科別の交流会

《作業療法学科の交流会》

まずは、交流をより深めてもらう目的で、「非現実的自己紹介」というテーマで、会話を行わず身振りや手振りで、誕生日の早い順番に並ぶというゲームを行った。クラスメイトに一所懸命自分の誕生日を伝える為、自然と身振りや手振りが大きくなり、笑顔での交流がみられた。



「非現実的自己紹介の場面」の様子

その後、5人の班になり、骨格標本を並べる学習会を行った。どこの骨であるかの位置の確認や、骨の左右の確認などを、教員の指導を受けながら、スタンド式の骨標本を観察して、班員で協力しながら熱心に取り組む姿勢が伺えた。



骨標本を組み立てる場面

《理学療法学科の交流会》

1) 自己紹介

初回参加者が複数名含まれるため、各班内で自己紹介を行った。班編成として、7～8名を1班として7班編成した。複数回参加者もみられるため、個別に交流する様子が伺えた。

2) 骨模型と筋の走行についての学習

第1回、第2回セミナーで行った学習内容をもとに、模擬授業形式の交流会を実施した。吊るしの骨模型とガムテープを用い、筋を3次元的にとらえ、運動イメージや筋の走行をイメージする課題を行った。更に、骨のイメージを持ってもらう目的として、個別の骨模型も用いて行った。対象筋として、上肢筋（三角筋、上腕二頭筋）、下肢筋（腸腰筋、大腿四頭筋、前脛骨筋、下腿三頭筋）に絞り、教員のデモンストレーション後に各班で協力してガムテープを貼付した。交流会中はほとんどの参加者が立って作業を行い、主体的に取り組んでいた。



骨模型に筋の走行としてテープを貼付する場面①



骨模型に筋の走行としてテープを貼付する場面②

3) 担任紹介

交流会後に担任紹介に合わせて、各担任より挨拶を行った。（昼間部1組：平田先生、2組岩下、夜間部：瀧下先生）

交流会中も対応教員として動員し、入学前から担任と関わる機会を設け、入学時の不安を少しでも解消するものとした。また、教員側の視点として、入学前から顔合わせを行うことで、各個人のキャラクターや参加状況を把握し、4月からのクラス運営にも役立ててもらうこととした。

《理学療法学科 第3回セミナーの様子》

（まとめ）

今年度も入学前プログラムは、入学決定後から入学までの自宅でのテキスト学習に加え、学院でのセミナーを、3回開催した。

第1回3回のセミナーは、学科別での交流会の時間を中心に実施したが、クラスメイト、教員との良い交流ができていた。

また第2回セミナーは、講義で、学科合同で講義形式で行ったが、入学後の受講するイメージになったと思われる。

IV-2-2 看護学科 入学前セミナー

日程：令和 8 年 3 月 10 日（金）

時間：8 時 30 分～12 時 10 分

目的：1. 新入生の交流を通して、入学後の学校生活をスムーズにスタートさせる事が出来る。

2. セミナーを通して授業の内容をイメージし、入学後の学習の取り組みに活かす事が出来る。

3. 在校生との交流を通して、入学後の学校生活をスムーズにスタートさせる事が出来る。

担 当：1 年生担任及び学科長他

参加者：新 1 年生 38 名 在校生（1 年生 10 名）

時間	内容	具体策	場所	担当
8:30～8:55	受 付		教室 1 前	在校生
9:15～	開 会	セミナー目的 1 日の流れ	教室 5・6	川 口
9:30～10:15	セミナー I ＊生命を維持する 働きと 血圧測定	内容の説明 ＊ミニ授業（解剖生理学テキスト） ＊バイタルサインの測定 ＊在校生も参加する	教室 5・6	川 口 在校生
10:15～10:25	休 憩			
10:25～11:20	交流会	＊在校生になんでも質問 ・勉強 ・学校生活 ・バイト等	教室 5・6	川口 在校生
10:50～11:30	休 憩		教室 5・6	
11:30～11:45	学校生活について 学科長 挨拶	＊アンケート記入 ＊入学式について		川口・宮木 福山学科長
11:45～12:05	閉 会 アンケート記入 入学後の緒連絡	・テキスト等について説明 ・メール受診設定	教室 5・6	宮木 古市 在校生

【セミナーを終えて】

在校生に案内され、次々と新 1 年生が会場入りした。皆、最後になるであろう母校の制服をきちんと身にまとい、落ち着いた雰囲気ですeminarがスタートした。セミナーでは、本校で学ぶ授業（講義・演習）にふれ、始めは緊張感漂い、どこことなくよそよそしい雰囲気だった。しかし、そこは在校生の先輩ぶりに距離も近くなり、後半はたくさんの笑顔があった。新 1 年生の存在に新しい風を感じ、また在校生（現 1 年生）は立ち振る舞いに、この学び舎で学んだ 1 年分が凝縮され頼もしさを感じる。先輩と後輩、この出逢いと存在がお互いを更なる看護学生としての成熟に必要な不可欠となる。出逢いを大切に、しっかり絆を深め、スクラム組んで良き仲間として成長してほしい。

VII 奨学金・特待制度・減免制度

1	日本学生支援機構		2025年度 奨学金等交付総額	
2	県市町村/団体			
3	熊本県母子家庭高等職業訓練促進給付金事業		¥402, 290, 200	
4	生命保険協会 介護福祉士養成奨学金			
5	熊本県介護福祉士等修学支援資金			
6	成績優秀者特待制度			
7	後援会奨学制度			
1	日本学生支援機構		全体	
	2025年度交付対象件数	557件	給付額（前期）	¥26, 496, 600
	第1種奨学金(利子無)	160件	貸与額（前期）	¥117, 609, 800
	第2種奨学金(利子付)	198件		
	給付奨学金	199件	給付額（後期）	¥23, 825, 400
			貸与額（後期）	¥108, 296, 400
	入学時特別増額貸与奨学金			
	交付対象者	9件	給付額（通年）	¥50, 322, 000
	特別増額貸与総額	¥3, 200, 000	貸与額（通年）	¥225, 906, 200
	＜前期＞		＜後期＞	
	給付第Ⅰ区分 54名	給付第Ⅰ区分 48名	入学金減免額	¥7, 973, 500
	給付第Ⅱ区分 40名	給付第Ⅱ区分 30名	前期授業料減免	¥40, 792, 650
	給付第Ⅲ区分 17名	給付第Ⅲ区分 25名	後期授業料減免	¥40, 005, 850
	給付第Ⅳ区分 42名	給付第Ⅳ区分 31名	減免総額	¥88, 772, 000
	多子世帯支援のみ 49名	多子世帯支援のみ 56名		
	(多子世帯該当：111名)	(多子世帯該当：106名)		
	文科省学習奨励費		月額	年額
	12ヶ月採用 2名		¥48, 000	¥1, 152, 000
	6ヶ月採用 1名		¥48, 000	¥288, 000
			総額	¥1, 440, 000
	2025年度新規採用者			
	新入生	給付 69件	貸与 87件	
	在校生	給付 47件	貸与 13件	
	2025年度新入学生数に対する交付率	47. 06%		
	全学生数に対する交付率	55. 57%		
	日本学生支援機構奨学金 貸与/給付総額		¥366, 440, 200	
2	県市町村及び団体		月額	年額(人数合計)
	長崎県育英会	1名	一括貸与	¥700, 000
	熊本県看護師等修学支援資金	7名	¥36, 000	¥3, 024, 000
	あしなが育英会（該当なし）	1名	¥70, 000	¥840, 000
	交通遺児育英会（該当なし）	0名	¥30, 000	¥0
	国際ソロプチミスト財団	1名	一括支給	¥300, 000
	ほしのわ財団	1名	一括支給	¥230, 000
			総額	¥5, 094, 000
3	熊本県母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業		月額	
	交付月額(給付)	3名	¥100, 000	総額 ¥3, 600, 000
4	生命保険協会 介護福祉士養成奨学生		月額	
	交付月額(給付)	1名	¥20, 000	総額 ¥240, 000
5	熊本県 介護福祉士等修学支援資金		年額	
	交付月額（貸与）	27名	¥820, 000	総額 ¥22, 140, 000
6	2025年度 成績優秀者 特待制度		新入生	在校生
	作業療法学科	0名	3名	免除額合計 ¥480, 000
	理学療法学科昼間部	2名	12名	¥2, 340, 000
	理学療法学科夜間部	0名	2名	¥400, 000
	看護学科	1名	4名	¥468, 000
	介護福祉学科	0名	1名	¥144, 000
	デジタルソリューション学科	0名	1名	¥180, 000
			特待生総数	26名
			免除総額	¥4, 012, 000
7	2025年度 後援会奨学制度		対象者数	免除額合計
	作業療法学科	1名	¥120, 000	免除対象 7名
	理学療法学科昼間部	2名	¥240, 000	免除総額 ¥764, 000
	理学療法学科夜間部	1名	¥100, 000	
	看護学科	2名	¥208, 000	
	介護福祉学科	1名	¥96, 000	

【編集後記】

令和 7年度は、災害や感染症の大きな影響もなく、学院生活を送ることが出来ました。また、学院行事や部活動も幅広く活動が出来、学生間のみならず教職員とも交流が深まり充実した学生生活が築けた内容が年報にも反映されていると思います。

当学院も開院20年が過ぎ、多くの学生が地域に貢献している姿を見るとその歴史を伺うことが出来ます。今後も更に発展していけるよう、また学生が1日1日を学業に専念できるよう教職員も一丸となり役割を果たしていくことが大事だと考えます。このことが来年度に繋がっていくと思います。

年報制作にあたり教職員の皆様のご協力ありがとうございました。

横山 真由美

<令和 7年度 年報編集委員>

井出 義智 (理学療法学科)
河口 万紀子(作業療法学科)
横山 真由美(看護学科)
野島 謙一郎
(介護福祉学科・国際介護学科)
柿下 耕一
(デジタルソリューション学科)
島田 一誠 (事務部)
志垣 伸太郎(法人部)